

第28回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

午前問題				午後問題			
No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目
1	c	1	解剖学	56	a	6	小児歯科学
2	c	1	解剖学	57	d	6	小児歯科学
3	d	2	解剖学	58	d	6	小児歯科学
4	c	2	解剖学	59	b d	6	高齢者・障害者
5	b	1	生化学	60	b	6	高齢者・障害者
6	a	1	生化学	61	a	6	高齢者・障害者
7	—	1	生理学	62	c	6	高齢者・障害者
8	a	1	生理学	63	a	7	歯科予防処置
9	d	3	病理学	64	c d	7	歯科予防処置
10	b	3	病理学	65	b c	7	歯科予防処置
11	b	3	微生物学	66	c	7	歯科予防処置
12	b	3	微生物学	67	c	7	歯科予防処置
13	a	3	微生物学	68	c d	7	歯科予防処置
14	d	3	薬理学	69	a b	7	歯科予防処置
15	b	3	薬理学	70	d	7	歯科予防処置
16	c	4	口腔衛生学	71	d	7	歯科予防処置
17	c d	4	口腔衛生学	72	c	7	歯科予防処置
18	a	4	口腔衛生学	73	b	7	歯科予防処置
19	a d	4	口腔衛生学	74	b	7	歯科予防処置
20	b	4	口腔衛生学	75	a c	7	歯科予防処置
21	b c	4	口腔衛生学	76	b c	7	歯科予防処置
22	c	4	口腔衛生学	77	c	7	歯科予防処置
23	a	4	衛生・公衆衛生学	78	c	8	歯科保健指導
24	d	4	衛生・公衆衛生学	79	d	8	歯科保健指導
25	b	4	衛生・公衆衛生学	80	b c	8	歯科保健指導
26	a c	4	衛生・公衆衛生学	81	c d	8	歯科保健指導
27	b	4	衛生・公衆衛生学	82	d	8	歯科保健指導
28	d	4	衛生・公衆衛生学	83	d	8	歯科保健指導
29	a d	4	衛生・公衆衛生学	84	b d	8	歯科保健指導
30	b	4	衛生・公衆衛生学	85	b d	8	歯科保健指導
31	d	5	歯科衛生士概論	86	c d	8	歯科保健指導
32	a d	5	歯科衛生士概論	87	a d	8	歯科保健指導
33	a	5	歯科衛生士概論	88	a b	8	歯科保健指導
34	a d	5	歯科衛生士概論	89	b	8	歯科保健指導
35	d	6	臨床歯科総論	90	b d	8	歯科保健指導
36	a d	6	臨床歯科総論	91	b c	8	歯科保健指導
37	b d	6	臨床歯科総論	92	d	8	歯科保健指導
38	a	6	保存修復学	93	b d	8	歯科保健指導
39	c d	6	保存修復学	94	a	8	歯科保健指導
40	a b	6	歯内療法学	95	a	8	歯科保健指導
41	a d	6	歯内療法学	96	a b	9	歯科診療補助
42	d	6	保存修復学	97	a b	9	歯科診療補助
43	c	6	歯周療法学	98	a c	9	歯科診療補助
44	c	6	歯周療法学	99	b c	9	歯科診療補助
45	c	6	歯科補綴学	100	c	9	歯科診療補助
46	—	6	歯科補綴学	101	b	9	歯科診療補助
47	c d	6	歯科補綴学	102	b	9	歯科診療補助
48	b	6	歯科補綴学	103	a	9	歯科診療補助
49	d	6	口腔外科学	104	b c	9	歯科診療補助
50	d	6	口腔外科学	105	c	9	歯科診療補助
51	d	6	口腔外科学	106	d	9	歯科診療補助
52	b c	6	矯正歯科学	107	c d	9	歯科診療補助
53	b	6	矯正歯科学	108	c d	9	歯科診療補助
54	c	6	矯正歯科学	109	d	9	歯科診療補助
55	d	6	矯正歯科学	110	c	9	歯科診療補助

午前問題 7番 採点対象から除外する。選択肢が不明瞭であるため。

午前問題 46番 採点対象から除外する。選択肢が不明瞭であるため。

午後問題 68番 複数の選択肢を正解とする。複数の正解があるため。

※出題基準

1 人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能

2 歯・口腔の構造と機能

3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

5 歯科衛生士概論

6 臨床歯科医学

7 歯科予防処置論

8 歯科保健指導論

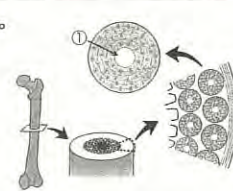
9 歯科診療補助論

解説（午前問題）

（問題 1）骨単位の模式図を示す。

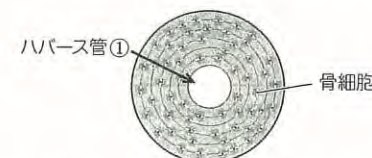
①で示すのはどれか。

- a 骨小腔
b 骨小管
c ハバース管
d フォルクマン管



選択肢考察

答え c



- × a 骨小腔とは緻密骨（ハバース層板の境界部分）に存在する空間で、内部に骨細胞が存在する。
× b 骨小管はほかの骨細胞と連絡するための長い突起で、骨細胞ともいう。
○ c 図中①のように骨の長軸（縦）方向に走行する血管系をハバース管という。
× d ハバース管と交差して横方向に走行する血管系をフォルクマン管という。

（問題 2）人体の図を示す。

矢印の部位にある骨はどれか。

- a 寛骨
b 脛骨
c 橈骨
d 腓骨



選択肢考察

答え c

- × a 寛骨は腰部の骨格を構成する左右一対の扁平な骨である。
× b 脛骨は下腿の内側に位置する三角柱状の長骨である。
○ c 橈骨は前腕を構成する外側（母指側）に位置する骨である。一方、内側（小指側）に位置する骨を尺骨という。
× d 腓骨は下腿の外側に位置する細長い骨である。

（問題 3）頭蓋骨側面の写真（別冊午前 No.1）を別に示す。

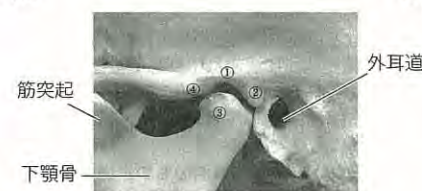
関節結節はどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.1

選択肢考察

答え d



- × a ①は下顎窩（関節窩）である。
× b ②は下顎窩の後方部である。

× c ③は下顎頭（関節突起）である。

○ d ④が関節結節である。

（問題 4）舌下神経がつかさどるのはどれか。

- a 舌の味覚
b 舌の触覚
c 舌の運動
d 舌下腺の分泌

選択肢考察

答え c

- × a 舌の味覚に関与するのは顔面神経の枝の鼓索神経である。
× b 舌の触覚に関与するのは三叉神経第3枝（下顎神経）の枝の舌神経である。
○ c 舌の運動に関与するのは舌下神経である。
× d 舌下腺の分泌に関与する副交感神経は顔面神経である。

（問題 5）感覚と受容器の組合せで正しいのはどれか。

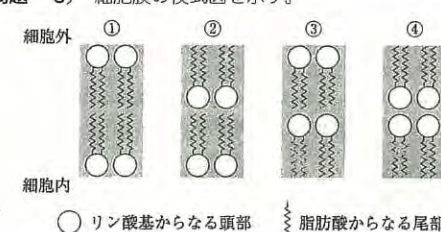
- a 視覚——有毛細胞
b 痛覚——自由神経終末
c 聴覚——ルフィニ小体
d 温覚——マイスナー小体

選択肢考察

答え b

- × a 有毛細胞は聴覚、平衡感覚の受容器である。
○ b 自由神経終末は痛覚、触覚、圧覚、温覚、冷覚の受容器である。
× c ルフィニ小体は触覚、圧覚、温覚の受容器である。
× d マイスナー小体は触覚の受容器である。

（問題 6）細胞膜の模式図を示す。



正しいのはどれか。

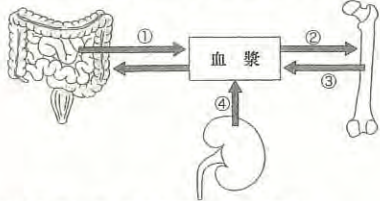
- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え a

- a、× b、× c、× d
細胞膜はリン脂質二重層になっている。リン酸基からなる頭部が膜の外側に存在し、膜の内側に脂肪酸からなる尾部が存在する。細胞膜は選択的透過性を持っており、物質により透過性が異なる。

(問題 7) 血漿と各臓器の間で起こる Ca^{2+} の移動を模式図に示す。



活性型ビタミン D_3 が作用するのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え 厚労省発表 採点除外

- a ①では活性型ビタミン D_3 による Ca^{2+} の取り込みが起こり、血中カルシウム濃度が上昇する。
 △ b ②ではカルシトニンによる Ca^{2+} の排出が起こり、血中カルシウム濃度が低下する。また、活性型ビタミン D_3 は骨形成にも関与するので②で作用しているともいえる。
 ○ c ③では上皮小体ホルモン（パソルモン）および活性型ビタミン D_3 による Ca^{2+} の取り込みが起こり、血中カルシウム濃度が上昇する。
 × d ④では上皮小体ホルモン（パソルモン）による Ca^{2+} の再吸収が起こり、血中カルシウム濃度が上昇する。

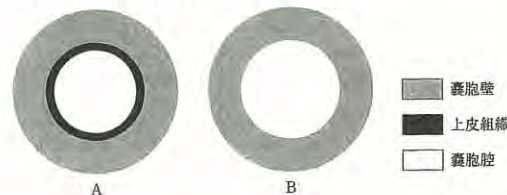
(問題 8) 一次止血でみられるのはどれか。

- a 血小板の粘着
 b フィブリンの出現
 c 第XII因子の活性化
 d トロンビンの活性化

選択肢考察 答え a

- a 血小板の粘着、血小板の凝集、血管収縮、血栓の形成は一次止血でみられる。
 × b、× c、× d 凝固系因子（カルシウム、第XII因子、プロトロンビン、フィブリノーゲンなど）の活性化、トロンビンの活性化、フィブリンの出現は二次止血でみられる。

(問題 9) 異なる囊胞の模式図を示す。



B はどれか。

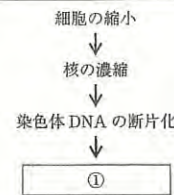
- a 含歯性囊胞
 b 類表皮囊胞
 c 鼻口蓋管囊胞
 d 粘液囊胞（溢型）

選択肢考察 答え d

- × a 含歯性囊胞は上皮による被覆のある囊胞なので、図 A に該当する。
 × b 類表皮囊胞は上皮による被覆のある囊胞なので、図 A に該当する。
 × c 鼻口蓋管囊胞は上皮による被覆のある囊胞なので、図 A に該当する。
 ○ d 粘液囊胞（溢型）は上皮による被覆のない囊胞なので、図 B に該当する。

(問題 10) 細胞死の過程を図に示す。

- ①はどれか。
 a 核の膨化
 b 細胞の断片化
 c 細胞膜の破裂
 d 細胞小器官の消失



選択肢考察 答え b

- × a 核の膨化がみられるのはネクローシス（壊死）である。
 ○ b 細胞の縮小、核の濃縮、DNA の断片化、細胞の断片化がみられるのはアポトーシスである。
 × c 細胞膜が破裂し、内容物が外部へ流出し、細胞全体が完全崩壊するのはネクローシスである。
 × d 細胞小器官の消失がみられるのはネクローシスである。

(問題 11) 針刺し事故で感染するのはどれか。

- a 麻疹ウイルス
 b B型肝炎ウイルス
 c ヘルペスウイルス
 d インフルエンザウイルス

選択肢考察 答え b

- × a 麻疹ウイルスは空気感染する。
 ○ b B型肝炎ウイルスは血液感染（針刺し事故など）や垂直感染する。
 × c ヘルペスウイルスは接触感染や垂直感染する。
 × d インフルエンザウイルスは飛沫感染する。

(問題 12) *Streptococcus mutans* の産生する不溶性グルカンで正しいのはどれか。

- a フルクトースが連結している。
 b 不溶性は α 1-3 結合の存在による。
 c グルコースを基質として合成する。
 d フルクトシルトランスフェラーゼで合成される。

選択肢考察 答え b

- × a グルカンはグルコースが連結している。フルクトースが連結しているのはフルクタンである。
 ○ b グルカンは α 1-6 結合の水溶性グルカン（デキストラン）と、 α 1-6 結合に α 1-3 結合の枝分かれをもった不溶性グルカン（ムタン）の 2 種類がある。
 × c スクロース（ショ糖）を基質として合成する。
 × d グルコシルトランスフェラーゼで合成される。

(問題 13) ABO 式血液型検査で用いられる反応はどれか。

- a 凝集反応
 b 沈降反応
 c 中和反応
 d 補体結合反応

選択肢考察 答え a

- a 赤血球などの粒子状の抗原に抗体が結合すると肉眼で観察できる凝集塊が形成される反応である。ABO 式血液型検査で用いられるのは凝集反応である。
 × b 抗原と抗体が結合して沈殿をつくる反応である。CRP テストは沈降反応である。
 × c 抗原と抗体が結合して抗原のもつ生物活性が失われる反応である。ASO テストは中和反応である。
 × d 抗原抗体複合体に補体が結合して活性化されて溶解が起こる反応である。ワッセルマン反応は補体結合反応（溶解反応）である。

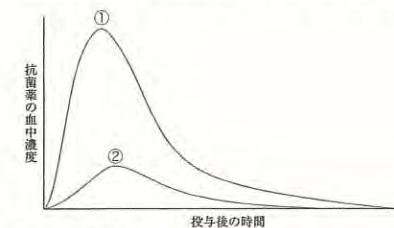
(問題 14) 高齢者の薬物療法において副作用の発現率が高い理由はどれか。

- a 薬物排泄能の亢進
 b 薬物代謝能の向上
 c 血清アルブミン量の増加
 d 服薬アドヒアランスの低下

選択肢考察 答え d

- × a 高齢者では薬物排泄能の低下がみられる。
 × b 高齢者では薬物代謝能の低下がみられる。
 × c 高齢者では血清アルブミン量の低下がみられる。
 ○ d アドヒアランスとは、患者が医師から薬の副作用や効果について十分に説明を受けたうえで、積極的に治療に関わり、自分で責任をもって服薬する態度のことである。高齢者は服薬アドヒアランスの低下がみられるので、副作用の発現率が高い。

(問題 15) 抗菌薬を経口投与した場合の血中薬物濃度－時間曲線を図に示す。曲線①の抗菌薬単独投与に対し、抗菌薬と Mg^{2+} 含有制酸薬を併用すると曲線②のように変化した。



この抗菌薬はどれか。

- a アンピシリン（ペニシリン系）
 b オフロキサシン（ニューキノロン系）
 c クラリスロマイシン（マクロライド系）
 d ストレプトマイシン（アミノグリコシド系）

選択肢考察 答え b

- × a アンピシリン（ペニシリン系）は Mg^{2+} 含有制酸薬併用による影響はない。
 ○ b オフロキサシン（ニューキノロン系）は Mg^{2+} 含有制酸薬を併用すると抗菌薬の血中濃度が低下する。
 × c クラリスロマイシン（マクロライド系）は Mg^{2+} 含有制酸薬併用による影響はない。
 × d ストレプトマイシン（アミノグリコシド系）は Mg^{2+} 含有制酸薬併用による影響はない。

(問題 16) 唾液成分で歯質保護作用を持つのはどれか。

- a アミラーゼ
 b チオシアン塩
 c 糖タンパク質
 d ペルオキシダーゼ

選択肢考察 答え c

- × a アミラーゼはでんぷんをマルトース（麦芽糖）に分解する消化酵素である。
 × b チオシアン塩（ロダン塩）は細菌の代謝経路を阻害する作用をもつ。
 ○ c ムチン（粘性糖タンパク質）は糖鎖が多く、保水性や潤滑性に優れ、口腔粘膜や歯質を物理的に保護する作用をもつ。
 × d ペルオキシダーゼはチオシアン塩の生成に関与する酵素性抗菌因子である。

(問題 17) ある歯磨剤に表示されている成分表の一部を示す。

研磨剤	無水ケイ酸
湿潤剤	プロピレングリコール
発泡剤	ラウリル硫酸ナトリウム
粘結剤	アルギン酸ナトリウム
薬用成分	モノフルオロリン酸ナトリウム デキストラナーゼ

この歯磨剤が表示できる効能はどれか。2 つ選べ。

- a 歯がしみるのを防ぐ
 b 歯肉からの出血を防ぐ
 c 歯垢の沈着の予防および除去
 d むし歯の発生および進行の予防

選択肢考察 答え c d

- × a 薬用成分に乳酸アルミニウムや硝酸カリウム、塩化ストロンチウムが含まれていないため、象牙質知覚過敏抑制作用はない。
 × b 薬用成分にトラネキサム酸が含まれていないため、止血作用はない。
 ○ c 薬用成分にデキストラナーゼが含まれており、歯垢が分解されるため、歯垢の沈着の予防および除去作用がある。
 ○ d 薬用成分にモノフルオロリン酸ナトリウムが含まれているため、むし歯の発生および進行の予防作用がある。

(問題 18) 0.1 % フッ化ナトリウム溶液 8 mL で洗口した場合の口腔内残留フッ化物イオン量（フッ素量）はどれか。ただし、フッ化物イオンの口腔内残留率は 10% とする。

- a 0.36mg
 b 0.45mg
 c 0.72mg
 d 0.90mg

選択肢考察 答え a

- a、× b、× c、× d
 0.1 % フッ化ナトリウムのフッ素濃度は 450ppm で、
 $8\text{mL} = 8\text{g} = 8 \times 1,000\text{mg}$ である。
 フッ化物イオンの口腔内残留率は 10% のため、口腔内残留フッ化物イオン量（フッ素量） $= 8 \times 1,000 \times 450 \times 10^{-6} \times 10/100 = 0.36\text{ (mg)}$ となる。

(問題 19) 口臭症分類で高頻度でみられるのはどれか。2 つ選べ。

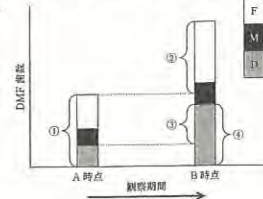
- a 生理的口臭
 b 口臭恐怖症
 c 全身由来の病的口臭
 d 口腔由来の病的口臭

選択肢考察 答え a d

- a 生理的口臭は起床時や空腹時、飲食・喫煙後、緊張時に高頻度でみられる。
 × b 口臭恐怖症は高頻度ではみられない。
 × c 扁桃腺炎や副鼻腔炎、胃腸障害などの全身由来の病的口臭は高頻度ではみられない。
 ○ d 歯周疾患やう蝕、智歯周囲炎などの口腔由来の病的口臭は高頻度でみられる。

(問題 20) ある集団の 2 時点でのう蝕状況を図に示す。
う蝕発病を示すのはどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

× a、○ b、× c、× d

A 時点の DMF 歯数は (①) であるが、B 時点の DMF 歯数は (①+②) であり、A 時点と比較して B 時点では (②) 増加しているため、う蝕発病を示すのは (②) である。

答え b

(問題 21) 代表値に平均値を用いる患者情報はどれか。2 つ選べ。

- a 性別
b 年齢
c DMF 歯数
d CPI コード

選択肢考察

× a、× d 性別や CPI コードは代表値に平均値を用いない。
○ b、○ c 年齢や DMF 歯数は代表値に平均値を用いる患者情報である。

答え b c

(問題 22) 1 歳 6 か月児歯科健康診査の結果を表に示す。

う蝕罹患型	O ₁	O ₂	A	B	C	合計
人数 (人)	148	40	6	4	2	200

う蝕有病者率はどれか。

- a 1 %
b 3 %
c 6 %
d 26 %

選択肢考察

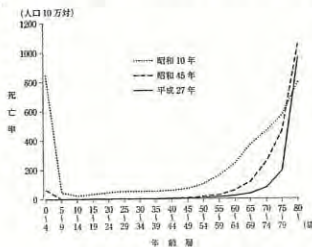
× a、× b、○ c、× d

う蝕罹患型 A、B、C はう蝕に罹患しており、う蝕罹患型 A、B、C の合計人数 = 6 + 4 + 2 = 12 (人) である。合計 200 人のため、う蝕有病者率は $12/200 \times 100 = 6$ (%) となる。

答え c

(問題 23) ある死亡原因の年代別・年齢階級別死亡率を図に示す。
この死亡原因はどれか。

- a 肺炎
b 糖尿病
c 心疾患
d 悪性新生物



選択肢考察

○ a 昭和 10 年、昭和 45 年、平成 27 年いずれも高齢者で増加しているため、肺炎の年代別・年齢階級別死亡率と考えられる。

答え a

- × b 死亡率 (人口 10 万対) から糖尿病とは考えにくい。
× c 心疾患は我が国の死因第 2 位であるが、40 代ころから増加する。
× d 悪性新生物は我が国の死因第 1 位であるが、40 代ころから増加する。

(問題 24) 感染症成立の 3 要因において宿主感受性に対する予防策はどれか。

- a 隔離
b 消毒
c 検疫
d 予防接種

選択肢考察

× a、× b 隔離や消毒は感染源に対する予防策である。
× c 検疫は感染経路に対する予防策である。
○ d 予防接種は宿主感受性に対する予防策である。

答え d

(問題 25) 結核はどれか。

- a 新興感染症
b 再興感染症
c 輸入感染症
d 日和見感染症

選択肢考察

× a 新興感染症は輸入感染症のうち、継続的に国内での発症がみられるようになったものである。
○ b 再興感染症は社会情勢の変化により、近年まで抑えられていた発症数が再び増加傾向を示すものである。結核は再興感染症である。
× c 輸入感染症はすべてが、あるいはおもに海外で感染して国内に持ち込まれる感染症である。
× d 日和見感染症は正常の宿主に対しては病原性を発揮しない病原体が、宿主の抵抗力が弱っているときに病原性を発揮しておこる感染症である。

答え b

(問題 26) 学校病はどれか。2 つ選べ。

- a う 歯
b 歯肉炎
c 結膜炎
d インフルエンザ

選択肢考察

○ a、○ c 「学校保健安全法」で学校病は、①トラコーマおよび結膜炎、②白癬、疥癬および膿疱疹、③中耳炎、④慢性副鼻腔炎およびアデノイド、⑤う歯、⑥寄生虫病 (虫卵保有を含む) と規定されている。
× b、× d 歯肉炎やインフルエンザは学校病として規定されていない。

答え a c

(問題 27) に入るのはどれか。

地域包括ケアシステムに必要な 5 つの視点とは、医療、介護、
、住まい、生活支援である。

- a 年 金
b 予 防
c 福 祉
d 雇 用

選択肢考察

× a、○ b、× c、× d
地域包括ケアシステムに必要な 5 つの視点とは、医療、介護、予防、住まい、生活支援である。

答え b

(問題 28) 職業性疾患で作業要因によるのはどれか。

- a 難 聴
b 熱中症
c じん肺
d 腰痛症

選択肢考察

× a、× b 「労働基準法」で難聴や熱中症は、物理的因子による疾病である。
× c 「労働基準法」でじん肺は、粉じんを飛散する場所における業務による疾病である。
○ d 「労働基準法」で腰痛症は、身体に過度の負担のかかる作業態様に起因する疾病である。

答え d

(問題 29) 歯科衛生士法施行規則に基づく業務従事者届出事項はどれか。2 つ選べ。

- a 年 齢
b 本 籍
c 業務従事施設の管理者
d 歯科衛生士名簿の登録番号

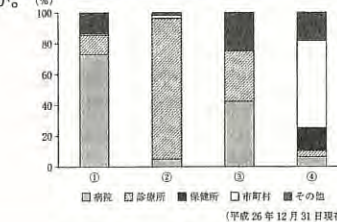
選択肢考察

○ a、× b、× c、○ d
「歯科衛生士法施行規則」に基づく業務従事者届出事項は、①氏名および年齢、②住所、③名簿の登録番号および登録年月日、④業務に従事する場所の所在地および名称である。

答え a d

(問題 30) 保健医療従事者の就業先別割合のグラフを示す。
歯科衛生士はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

× a、○ b、× c、× d
歯科衛生士は②である。就業場所別にみると、歯科衛生士は「診療所」が 112,211 人 (構成割合 90.6%) と最も多く、「病院」が 6,259 人 (構成割合 5.1%)、「保健所」が 672 人 (構成割合 0.5%)、「市区町村」が 1,952 人 (構成割合 1.6%) である (平成 28 年末)。

答え b

(問題 31) 「訪問歯科衛生指導」はどの業務にあたるか。

- a 身体介護
b 療養上の世話
c 歯科予防処置
d 歯科診療の補助

選択肢考察

× a 身体介護、生活の援助、相談支援は介護福祉士の業務である。
× b 療養上の世話、診療の補助は看護師の業務である。
× c 歯科予防処置に該当するのは、予防的歯石除去、う蝕予防処置 (フッ化物歯面塗布、フッ化ジアンミン銀塗布、小窩裂溝填塞) である。
○ d 「訪問歯科衛生指導」とは、歯科訪問診療を行った歯科

答え d

医師の指示に基づき、歯科衛生士が行う指導なので、「歯科診療の補助」の業務に該当する。

(問題 32) SOAP の「O」にあたるのはどれか。2 つ選べ。

- a 検査結果
b 相談内容
c 自覚症状
d 患者の動作

選択肢考察

× a 検査結果は診察した結果なので「O」(Objective data: 客観的情報) に該当する。
× b 相談内容は患者の訴えなので「S」(Subjective data: 主観的情報) に該当する。
× c 自覚症状は患者の訴えなので「S」(Subjective data: 主観的情報) に該当する。
○ d 患者の動作は観察した結果なので「O」(Objective data: 客観的情報) に該当する。

答え a d

(問題 33) 「患者の権利」を謳っているのはどれか。

- a リスボン宣言
b ヘルシンキ宣言
c ジュネーブ宣言
d ヒポクラテスの誓い

選択肢考察

○ a リスボン宣言は患者の自己決定権 (患者の権利) を謳っている。インフォームドコンセントの重要性を述べている。
× b ヘルシンキ宣言はヒトを対象とした医学研究の倫理指針を謳っている。現在の日本の医薬品の治験実施基準となっている GCP (Good Clinical Practice) の基となっている。
× c ジュネーブ宣言は世界医師総会で採択された医の倫理宣言であり、「医師の奉仕宣言」や「医の倫理規定」と表現される。人類への奉仕、患者の非差別、良心と尊厳をもった医療、患者の秘密の尊重が述べられている。
× d ヒポクラテスの誓いは医師の倫理・任務などについてのギリシャ神への宣誓文である。ジュネーブ宣言の基礎となるものである。

答え a

(問題 34) NST で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 情報を共有する。
b 診療科単位に組織する。
c 主な対象者は外来患者である。
d 患者の家族はチームの一員である。

選択肢考察

○ a NST (栄養サポートチーム) とは、様々な医療スタッフがチームを組み、患者に最も適切な方法で栄養状態を良好に保つことを目的とするチームのことである。チーム内で情報を共有する。
× b 診療科単位で組織するのではなく、多職種と連携する。
× c 主な対象者は外来患者ではなく、入院患者である。
○ d チーム医療では、患者の家族もチームの一員である。

答え a d

(問題 35) う蝕の進行を測定できるのはどれか。

- a 触 診
b 温度診
c 透照診
d インピーダンス

選択肢考察

答え d

- × a 触診は軟化象牙質の存在などを把握することはできないが、う蝕の進行は測定できない。
- × b 温度診は歯髄の生死を把握するものであり、う蝕の進行は測定できない。
- × c 透照診は隣接面う蝕の有無は把握できるが、う蝕の進行は測定できない。
- d インピーダンスはう蝕の進行の測定や露髄の有無の判断ができる。

(問題 36) 急性化膿性炎症の血液検査で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 白血球数の増加
b 血小板数の減少
c 赤血球数の減少
d 好中球の核の左方移動

選択肢考察 答え a d
○ a、○ d 急性化膿性炎症では血液検査で白血球数の増加や好中球の核の左方移動がみられる。
× b 血小板減少性紫斑病などで血小板数の減少がみられる。
× c 貧血などで赤血球数の減少がみられる。

(問題 37) 根分岐部病変の分類で同じ状態を示す組合せはどれか。2 つ選べ。

	Glickman の分類	Lindhe&Nyman の分類
a	1 級	1 度
b	2 級	2 度
c	3 級	2 度
d	4 級	3 度

選択肢考察 答え b d
× a Glickman の分類 1 級はエックス線写真上で根分岐部に骨吸収がないもので、Lindhe&Nyman の分類 1 度は根分岐部に探針が挿入できるため、同じ状態とはいえない。
○ b Glickman の分類 2 級と Lindhe&Nyman の分類 2 度は、どちらも探針が根分岐部を貫通しない状態であり、同じ状態といえる。
× c Glickman の分類 3 級は探針が根分岐部を貫通するが、Lindhe&Nyman の分類 2 度は探針が根分岐部を貫通しないため、同じ状態とはいえない。
○ d Glickman の分類 4 級と Lindhe&Nyman の分類 3 度は、どちらも探針が根分岐部を貫通する状態であり、同じ状態といえる。

(問題 38) 象牙質う蝕円錐の内層〈第二層〉の特徴で正しいのはどれか。

- a 再石灰化する。
b 細菌が侵入している。
c う蝕検知液で濃染される。
d コラーゲン線維が崩壊している。

選択肢考察 答え a
○ a 象牙質う蝕円錐の内層〈第二層〉は再石灰化が可能である。
× b 細菌が侵入しているのは象牙質う蝕円錐の外層〈第一層〉である。
× c う蝕検知液で濃染されるのは象牙質う蝕円錐の外層〈第一層〉である。
× d コラーゲン線維が崩壊しているのは象牙質う蝕円錐の外層〈第一層〉である。

(問題 39) 34 歳の女性。下顎右側犬歯部の審美障害を主訴として来院した。診査の結果、う蝕症第 2 度と診断された。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.2)を別に示す。

- 修復処置として考えられるのはどれか。2 つ選べ。
- a レジン前装冠
b メタルインレー修復
c コンポジットレジン修復
d グラスアイオノマーセメント修復

別冊 午前 No.2

選択肢考察

答え c d



下顎右側犬歯の近心隣接面にう蝕がみられる

- × a レジン前装冠は歯質削除量が多く、本症例にみられる隣接面う蝕に適用するとは考えられない。
× b メタルインレー修復は臼歯部に適用する。
○ c、○ d 前歯の隣接面う蝕には、コンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復が適切である。

(問題 40) 可逆性の歯髄疾患はどれか。2 つ選べ。

- a 歯髄充血
b 急性単純性歯髄炎
c 急性化膿性歯髄炎
d 慢性増殖性歯髄炎

選択肢考察

答え a b

- a 歯髄充血は可逆性の歯髄疾患である。
○ b 急性単純性歯髄炎は可逆性の歯髄疾患である。
× c、× d 急性化膿性歯髄炎や慢性増殖性歯髄炎は不可逆性の歯髄疾患である。

(問題 41) ニッケルチタンロータリーファイルの特徴で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 超弾性を有する。
b ISO 規格に準じる。
c 手用操作で用いる。
d 大きなテーバーが付与されている。

選択肢考察

答え a d

- a ニッケルチタンロータリーファイルは超弾性を有する。
× b ISO 規格に準じるのはステンレススチール製手用ファイルである。
× c ニッケルチタンロータリーファイルは低速マイクロモーターに装着して用いる。
○ d ニッケルチタンロータリーファイルは ISO 規格のステンレススチール製手用ファイルより大きなテーバーが付与されている。

(問題 42) 58 歳の男性。下顎左側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。感染根管治療を行うことになった。初診時のエックス線写真(別冊午前 No.3)を別に示す。

矢印で示す破折ファイルの除去で用意するのはどれか。

- a EDTA
b 有鉤探針
c スプレッター
d マセランキット

別冊 午前 No.3

選択肢考察

答え d

矢印は第一大臼歯近心根管に存在する破折ファイルを示している



- × a EDTA は根管洗浄に用いる。破折ファイルの除去に用いるものではない。
× b 有鉤探針は天蓋の確認に用いる。破折ファイルの除去に用いるものではない。
× c スプレッターは根管充填に用いる。破折ファイルの除去に用いるものではない。
○ d マセランキットは破折ファイルの除去に用いる器具である。

(問題 43) 55 歳の男性。下顎左側臼歯部の疼痛と腫脹を主訴として来院した。2 日前から歯肉が腫れ、痛みがあったが放置していたという。LDDS を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.4A)と処置時の口腔内写真(別冊午前 No.4B)を別に示す。

この処置で用いた薬剤はどれか。

- a アモキシシリン
b ポビドンヨード
c ミノサイクリン塩酸塩
d ベンゼトニウム塩化物

別冊 午前 No.4A、B

選択肢考察

答え c



歯周ポケット内に薬剤を注入している

- × a アモキシシリンは LDDS に用いる薬剤ではない。
× b ポビドンヨードは LDDS に用いる薬剤ではない。
○ c ミノサイクリン塩酸塩は LDDS に用いられる薬剤である。
× d ベンゼトニウム塩化物は LDDS に用いる薬剤ではない。

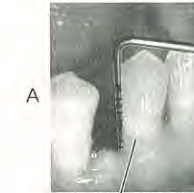
(問題 44) 46 歳の男性。下顎右側犬歯の歯の動揺と歯肉退縮を主訴として来院した。検査時の口腔内写真(別冊午前 No.5A)とポケット探針の写真(別冊午前 No.5B)を別に示す。

- アタッチメントレベルはどれか。
- a 3 mm
b 5 mm
c 8 mm
d 10 mm

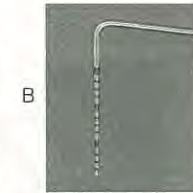
別冊 午前 No.5A、B

選択肢考察

答え c



セメントエナメル境



ポケット探針

- × a、× b、○ c、× d
アタッチメントレベルはセメントエナメル境からポケット底までの距離である。検査時の口腔内写真のセメントエナメル境の位置とポケット探針の目盛から、アタッチメントレベルは 8 mm と判断できる。

(問題 45) 63 歳の女性。上顎左側臼歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。ブラッシング指導とスクレーリング後に SRP を行うことになった。口腔内写真(別冊午前 No.6A)とグレイシータイプキュレットの写真(別冊午前 No.6B)を別に示す。

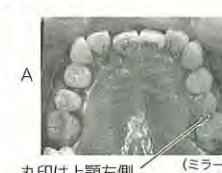
丸印で囲んだ部位に用いるのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.4A、B

選択肢考察

答え c



丸印は上顎左側第一大臼歯近心部を示す



グレイシータイプキュレット

- × a ①は # 5/6 であり前歯部、小臼歯部に用いる。
× b ②は # 9/10 であり臼歯部頬舌側面に用いる。
○ c ③は # 11/12 であり臼歯部近心面に用いる。丸印で囲んだ部位は臼歯部近心面であり、適切である。
× d ④は # 13/14 であり臼歯部遠心面に用いる。

(問題 46) 歯肉圧排時に使用する収斂剤はどれか。2 つ選べ。

- a 塩化第二鉄
b アドレナリン
c フッ化ナトリウム
d 塩化アルミニウム

選択肢考察

答え 厚労省発表 採点除外

- a、○ d 塩化第二鉄、塩化アルミニウム、ミョウバンは収斂剤で歯肉圧排系に浸潤させる薬剤である。
× b アドレナリンは止血剤〈血管収縮薬〉で歯肉圧排系に浸潤させる薬剤である。

- × c フッ化ナトリウムはう蝕予防で使用するフッ化物である。

(問題 47) 75 歳の男性。義歯不適合を主訴として来院した。義歯製作過程の個人トレーの写真(別冊午前 No.7)を別に示す。矢印で示す材料の目的はどれか。2 つ選べ。

- a 顎堤粘膜への圧力防止
b 印象採得時の軟組織の保護
c 顎堤粘膜への加圧形態の記録
d 機能運動に調和した辺縁形態の獲得

別冊 午前 No.7

選択肢考察 答え c d



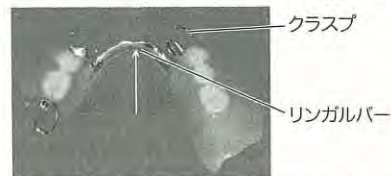
- × a 矢印で示す材料とはコンパウンド印象材である。コンパウンド印象材を個人トレーの辺縁に盛って筋圧形成を行っているところである。顎堤粘膜に圧を加えており、圧力防止のためではない。
× b 軟組織の保護のために使用するものではない。
○ c 顎堤粘膜への加圧形態を記録するために筋圧形成を行う。
○ d 機能運動に調和した辺縁形態を獲得するために筋圧形成を行う。

(問題 48) 義歯の写真(別冊午前 No.8)を別に示す。矢印で示すのはどれか。

- a パラタルバー
b リンガルバー
c ケネディバー
d ラビアルバー

別冊 午前 No.8

選択肢考察 答え b



- × a パラタルバーは上顎部分床義歯に用いる連結装置の 1 つである。
○ b 写真の矢印はリンガルバーで、下顎部分床義歯に用いる連結装置の 1 つである。
× c ケネディバー(ダブルリンガルバー)は、リンガルバーと平行して下顎前歯舌面を連続鉤が走行する。下顎部分床義歯に用いる連結装置の 1 つであるが、舌感が悪く、歯周疾患に罹患しやすいため、臨床ではあまり使用しない。
× d ラビアルバー(外側バー)は残存歯や歯槽骨が舌側に著しく傾斜している場合に用いる連結装置である。舌側に著しく傾斜している症例が少ないので、臨床ではほとんど使用しない。

次の文を読み、(問題 49)、(問題 50)に答えよ。

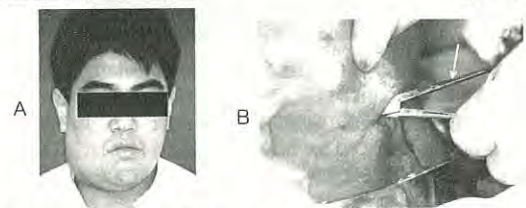
34 歳の男性。右側顎下部の疼痛を訴えて来院した。下顎右側智歯周囲炎をたびたび起こしていたが、4 日前より顎下部の疼痛が増し、開口障害も発現したという。開口は 1 横指であり、右側顎下部の自発痛、圧痛は著しく、強い嚥下痛もみられた。初診時の顔貌写真(別冊午前 No.9A)と顎下腺を開放し消炎手術を行っている写真(別冊午前 No.9B)を別に示す。

(問題 49) 矢印で示す器具はどれか。

- a 破骨鉗子
b 剥離剪刀
c 眼科剪刀
d モスキート鉗子

別冊 午前 No.9A,B

選択肢考察 答え d



顎下部が炎症のため腫れている 顎下腺を開放し消炎手術を行っている

- × a 破骨鉗子は文字どおり骨を削除する際に用いる。
× b 剥離剪刀(メッツェンバウム)は軟組織内嚢胞摘出術や軟組織性腫瘍摘出術などで組織を剥離するのに用いる。
× c 眼科剪刀は歯科では抜糸用ハサミとして用いる。
○ d 切開した後、剥離子やモスキート鉗子などを膿瘍腔内に挿入して、鈍的に操作を行い、膿瘍腔を開放する。

(問題 50) 顎下腺の開放・排膿の直後に行う処置はどれか。

- a 創面の縫合
b 試験的穿刺
c ドレーン挿入
d 顎下腺の洗浄

選択肢考察 答え d

- × a 顎下腺の開放、排膿をしているので、創面は縫合しない。
× b 試験的穿刺は膿の存在が明らかな場合は行わない。膿の形成が疑わしい場合や深部に存在する場合には試験的穿刺を行い、膿瘍形成の有無を確認する。試験的穿刺を行う場合は排膿前である。
× c 洗浄後にドレーンを挿入して排膿路を確保する。
○ d 排膿直後は膿瘍腔内の壊死組織を除去し、顎下腺を洗浄する。

(問題 51) 36 歳の女性。舌背部の異常を主訴として来院した。舌背部後方正中付近に舌乳頭が欠落した淡赤色の粘膜が認められる。疼痛などの不快事項はみられない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.10)を別に示す。

考えられるのはどれか。

- a 舌癌
b 溝状舌
c 地図状舌
d 正中菱形舌炎

別冊 午前 No.10

選択肢考察 答え d



- × a 舌癌は舌側縁部に好発し、舌根部や舌下面にもみられる。初期は無症状であるが、浸潤すると疼痛、潰瘍、硬結などがみられる。
× b 溝状舌では舌背部に多数の溝がみられる。原因不明で Down 症候群でよくみられる。
× c 地図状舌では舌背前方に糸状乳頭の萎縮・消失により紅色を呈する部分と周囲のプラークによる乳白色を呈する部分とが混在する。これらの混在により地図状にみえる。
○ d 正中菱形舌炎では舌背正中の後方にみられる無対結節の残存で紅斑がみられる。紅斑の前後に長い菱形を呈し、この部分には乳頭がない。舌尖には生じない。

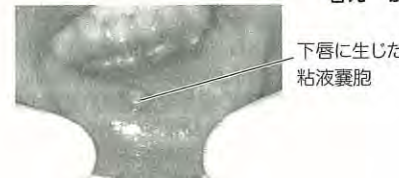
(問題 52) 12 歳の男子。下唇粘膜の違和感を主訴として来院した。3 か月前より同部に腫瘤が生じ、腫脹と消退を繰り返していたという。腫瘤は、境界明瞭な半球状で弾性軟を呈し、腫瘤被覆粘膜を透して内部に液体の貯留を疑わせた。口腔内写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

この腫瘤を摘出する際に用意するのはどれか。2 つ選べ。

- a 鋭匙
b メス
c 剥離剪刀
d ラスパトリウム

別冊 午前 No.11

選択肢考察 答え b c



- × a 鋭匙は不良肉芽組織の除去に用いる。消炎手術、抜歯術、顎骨内嚢胞摘出術の際に用いる。今回のような軟組織内嚢胞摘出術では使用しない。
○ b、○ c 下唇粘膜の腫瘤、腫脹と消退を繰り返していた、境界明瞭な半球状で弾性軟を呈し、腫瘤被覆粘膜を透して内部に液体の貯留が疑われた、以上の点から粘液嚢胞と考えられる。軟組織内嚢胞摘出術を行うので、メス、粘膜剥離子、剥離剪刀、モスキート鉗子などを使用する。
× d 骨膜剥離子(ラスパトリウム)は抜歯術、顎骨内嚢胞摘出術の際に用いる。今回のような軟組織内嚢胞摘出術では使用しない。

(問題 53) 7 歳の男児。咬み合わせの異常を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.12A)とエックス線画像(別冊午前 No.12B)を別に示す。

上顎左側第一大臼歯の位置異常はどれか。

- a 移転
b 低位
c 埋伏
d 舌側転位

別冊 午前 No.12A,B

選択肢考察 答え b



上顎左側第一大臼歯が近心傾斜し第二乳臼歯の下に異所萌出している

- × a 移転とは隣在歯と萌出位置が入れ替わっている状態である。
○ b 低位とは咬合平面に達していない状態であり、写真の上顎左側第一大臼歯は低位である。
× c 埋伏とは一定の萌出時期が過ぎても歯冠が萌出せずに顎骨内や歯肉下にある状態である。
× d 舌側転位とは歯が正常な位置より舌側に位置している状態である。

(問題 54) 口腔模型の写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

Angle の不正咬合の分類はどれか。

- a I 級
b II 級 1 類
c II 級 2 類
d III 級

別冊 午前 No.13

選択肢考察 答え c



- × a、× b、○ c、× d
下顎の頬面溝が上顎第一大臼歯の近心傾斜咬頭より遠心に位置しており、上顎前歯が後退していることから、II 級 2 類と判断される。

(問題 55) 矯正装置の写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

これを使用するのはどれか。

- a 開咬
b 翼状捻転
c 過剰咬合
d 狭窄歯列弓

別冊 午前 No.14

選択肢考察 答え d



クワドヘリックス

- × a、× b、× c、○ d
写真の装置はクワドヘリックスであり、歯列弓の拡大に用いる。したがって、この装置を使用するのは狭窄歯列弓である。

(問題 56) 歯の異常と好発部位の組合せで正しいのはどれか。

- a 癒合歯 ————— 下顎前歯
b 歯内歯 ————— 下顎側切歯
c ターナー歯 ————— 下顎大白歯
d タウロドント ————— 下顎中切歯

選択肢考察

答え a

- a 癒合歯は下顎前歯に好発する。
× b 歯内歯は上顎側切歯に好発する。
× c ターナー歯は先天乳歯の根尖性歯周炎が原因で生じるものであり、前歯や小臼歯にみられる。大白歯には生じない。
× d タウロドントは下顎乳臼歯に好発する。

(問題 57) Hellman の歯齢 II A 期で分化する情動はどれか。

- a 恐怖
b 不快
c 嫉妬心
d 羞恥心

選択肢考察

答え d

- × a 恐怖は 6 か月に分化する。
× b 不快は 3 か月に分化する。
× c 嫉妬心は 1 歳 6 か月に分化する。
○ d 羞恥心は 5 歳に分化する。5 歳は Hellman の歯齢 II A 期に相当する。

(問題 58) 3 歳 6 か月の男児。3 歳児歯科健康診査で軟組織異常の指摘を受けて来院した。上唇を上方に牽引した初診時の口腔内写真 (別冊午前 No.15) を別に示す。

今後注意すべきことはどれか。

- a 開口障害
b 嚥下障害
c 構音障害
d 永久歯萌出時の位置異常

別冊 午前 No.15

選択肢考察

答え d



- × a 開口障害は上唇小帯の高位付着の患者で今後注意すべきものではない。
× b 嚥下障害は上唇小帯の高位付着の患者で今後注意すべきものではない。
× c 構音障害は上唇小帯の高位付着の患者で今後注意すべきものではない。
○ d 上唇小帯が高位付着しており、永久歯萌出時の位置異常に今後注意すべきである。

(問題 59) 80 歳の男性。家族から歯の付け根の白くなっているのが気になることを主訴として歯科訪問診療の依頼を受けた。進行性核上性麻痺により自宅療養中である。ADL は全介助、胃瘻にて禁食状態であり、唾液誤嚥による反復性の誤嚥性肺炎に罹患している。患者の口腔内写真 (別冊午前 No.16) を別に示す。

適切な口腔衛生管理はどれか。2 つ選べ。

- a 洗口の指導
b フッ化物塗布
c 超音波スケーラーの使用
d 家族への歯面清掃法の指導

別冊 午前 No.16

選択肢考察

答え b d



- × a 唾液誤嚥による反復性の誤嚥性肺炎に罹患しているため、洗口の指導は適切ではない。
○ b 口腔内写真から上顎前歯部歯頸部に白濁がみられるため、フッ化物塗布が適切である。
× c 唾液誤嚥による反復性の誤嚥性肺炎に罹患しているため、注水が必要な超音波スケーラーの使用は適切ではない。
○ d 口腔内写真から上顎前歯部歯頸部に白濁がみられ、ADL は全介助のため、家族への歯面清掃法の指導を行うことが適切である。

(問題 60) 77 歳の男性。脳梗塞発症後にリハビリテーション病院に入院中である。今週のリハビリテーション週間スケジュールがベッドサイドに貼られている。それには「午前 10 時①歩行訓練、午前 11 時②構音障害の機能訓練、午後 2 時③利き手交換の訓練、午後 3 時 口腔衛生管理」と記載されている。

下線部分の機能訓練を実施する専門職の組合せで正しいのはどれか。

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① | ② | ③ |
| a 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 |
| b 理学療法士 | 言語聴覚士 | 作業療法士 |
| c 作業療法士 | 理学療法士 | 言語聴覚士 |
| d 作業療法士 | 言語聴覚士 | 理学療法士 |

選択肢考察

答え b

- × a、○ b、× c、× d
歩行訓練は理学療法士、構音障害の機能訓練は言語聴覚士、利き手交換の訓練は作業療法士が実施する。

(問題 61) 知的機能 (IQ) と身体移動能力によって区分された大島の分類を図に示す。

重症心身障害者 (児) を指すのはどれか。

- a 3
b 10
c 13
d 21

					(IQ)
21	22	23	24	25	80
20	13	14	15	16	70
19	12	7	8	9	50
18	11	6	3	4	35
17	10	5	2	1	20
					0
走れる	歩ける	歩行障害	居れる	寝たきり	

選択肢考察

答え a

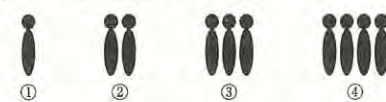
- a、× b、× c、× d

大島の分類では 1 ~ 4 の範囲に入ると重症心身障害者 (児)、5 ~ 9 の範囲に入ると重症心身障害者 (児) の定義には当てはまりにくい。① 絶えず医学的管理下に置くべきもの、② 障害の状態が進行的と思われるもの、③ 合併症があるものが多く、周辺児とよばれる。

(問題 62) 染色体の模式図を示す。

ダウン症候群で 21 番染色体異常はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

答え c

- × a ① は染色体が 1 本のためモノソミーである。
× b ② は染色体が 2 本のため正常である。
○ c ③ は染色体が 3 本のためトリソミーである。ダウン症候群は 21 番染色体のトリソミーである。
× d ④ は染色体が 4 本のためテトラソミーである。

(問題 63) 30 歳の女性。歯周病の予防を主訴として来院した。検査の結果、プロービング深さは 1 ~ 3 mm、O' Leary の PCR は 28.0% であった。歯科衛生士が口腔清掃指導、歯肉縁上歯石の除去および PMTC を行った。

実施した予防の段階はどれか。

- a 特異的防御
b 機能喪失防止
c リハビリテーション
d 早期発見・早期治療

選択肢考察

答え a

- a プロービング深さが 1 ~ 3 mm であるため、明らかな歯周病とは診断できない。そのため、この患者に対して口腔清掃指導、歯肉縁上歯石の除去および PMTC を行うことは、歯周病の予防レベルにおける特異的防御である。
× b 歯周病の予防レベルにおける機能喪失防止はルートプレーニングなどが挙げられる。
× c 歯周病の予防レベルにおけるリハビリテーションは歯周補綴などが挙げられる。
× d 歯周病の予防レベルにおける早期発見・早期治療は、歯周病に対するスクーリングなどが挙げられる。

(問題 64) 健康な歯肉で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 歯肉溝の深さは 4 mm である。
b スティッピングが辺縁歯肉にみられる。
c 歯肉と歯の付着様式に上皮性付着がある。
d 遊離歯肉と付着歯肉の間には遊離歯肉溝が存在する。

選択肢考察

答え c d

- × a 4 mm の深さの歯肉溝は健康とはいえない。
× b スティッピングは辺縁歯肉にはみられない。
○ c 歯肉と歯の付着様式には上皮性付着と結合組織性付着がある。
○ d 遊離歯肉と付着歯肉の間に遊離歯肉溝が存在する。

(問題 65) 歯周病がリスクファクターとなりうる疾患はどれか。2 つ選べ。

- a 胃癌
b 心内膜炎
c 誤嚥性肺炎
d 後天性免疫不全症候群

選択肢考察

答え b c

- × a、× d 胃癌や後天性免疫不全症候群は歯周病がリスクファクターとなりうる疾患ではない。
○ b、○ c 歯周病は心内膜炎や誤嚥性肺炎のリスクファクターとなりうる。

(問題 66) 器具の写真 (別冊午前 No.17) を別に示す。

20g 圧でこの器具を使用するのはどれか。

- a GI
b PI
c CPI
d PMA Index

別冊 午前 No.17

選択肢考察

答え c



WHO の CPI プローブ

- × a GI を判定する際に歯肉縁に沿って歯周プローブで擦過することはあるが、写真の器具を 20g 圧で使用するのではない。
× b PI は歯周ポケットの形成の有無を評価するが、写真の器具を 20g 圧で使用するのではない。
○ c 写真の器具は CPI の検査に使用する CPI プローブであり、操作圧は 20g 以下とする。
× d PMA Index は特別な器具を必要としない。

(問題 67) 歯肉炎でみられないのはどれか。

- a 発赤
b 腫脹
c 歯槽骨の吸収
d プロービング時の出血

選択肢考察

答え c

- a 歯肉炎では発赤がみられる。
○ b 歯肉炎では腫脹がみられる。
× c 歯槽骨の吸収は歯周炎でみられるもので、歯肉炎ではみられない。
○ d 歯肉炎ではプロービング時の出血がみられる。

次の文を読み、(問題 68)、(問題 69)に答えよ。
56 歳の女性。歯肉からの出血を主訴として来院した。ブラークコントロールの確立後、歯科医師の指示によりグレーシートタイプキュレットを用いてスクーリングを行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.18)を別に示す。

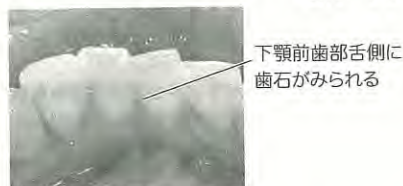
- (問題 68) 処置前に説明すべき術後の症状はどれか。2つ選べ。
a う蝕発病
b 構音障害
c 歯肉退縮
d 象牙質知覚過敏

選択肢考察 答え c d
× a、× b スクーリング後にう蝕発病や構音障害が生じるとは考えにくく、説明すべき症状とはいえない。
○ c、○ d スクーリングを行うことにより、歯肉退縮を生じる可能性があり、また、根面露出などで象牙質知覚過敏を発症することもある。したがって、スクーリング前に説明すべき症状といえる。

- (問題 69) 写真で示す部位の処置に適するのはどれか。2つ選べ。
a # 1
b # 5
c # 9
d #13

別冊 午前 No.18

選択肢考察 答え a b



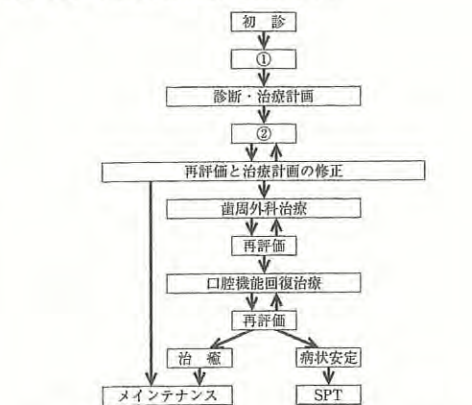
- a、○ b 写真で示す部位は下顎前歯部であり、# 1 や # 5 のグレーシートタイプキュレットが適している。
× c # 9 は臼歯部頬舌側面に適している。
× d #13 は臼歯部遠心面に適している。

(問題 70) 下顎臼歯部に近遠心的に 3mm の動揺がみられた。Miller の分類はどれか。

- a 0 度
b 1 度
c 2 度
d 3 度

選択肢考察 答え d
× a 0 度は 0.2mm 以内の動揺である。
× b 1 度は唇舌方向に 0.2 ~ 1.0mm 動揺する状態である。
× c 2 度は唇舌方向に 1.0 ~ 2.0mm 動揺する状態である。
○ d 3 度は唇舌、近遠心方向に 2.0mm 以上の動揺がみられ、さらに歯軸方向にも動揺する状態である。したがって、下顎臼歯部に近遠心的に 3mm の動揺がみられる状態は 3 度である。

(問題 71) 歯周治療の流れを図に示す。



①、②に該当する内容の組合せで正しいのはどれか。

- ① ②
a 咬合調整 動揺度検査
b スクーリング 新付着術
c 口腔清掃指導 予後不良歯の抜歯
d 歯周ポケット検査 ルートプレーニング

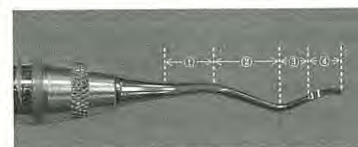
選択肢考察 答え d
× a 咬合調整は②に該当し、動揺度検査は①に該当する。
× b スクーリングは②に該当し、新付着術は歯周外科治療に該当する。
× c 口腔清掃指導や予後不良歯の抜歯は②に該当する。
○ d ①は歯周病の検査、②は歯周基本治療である。歯周ポケット検査は①に該当し、ルートプレーニングは②に該当する。したがって d が正しい。

(問題 72) グレーシートタイプキュレットの写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

歯面と平行にして操作するのはどれか。
a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.19

選択肢考察 答え c



グレーシートタイプキュレット

- × a、× b、○ c、× d
グレーシートタイプキュレットの操作法として、歯面と平行にするのは第一シャンクである。したがって③が正しい。

(問題 73) 歯石を評価指標に用いるのはどれか。

- a PI
b OHI
c PMA Index
d O' Leary の PCR

選択肢考察 答え b
× a PI では、歯周炎の進行度を評価する。
○ b OHI は、ブラークと歯石の付着・沈着状態を評価指標に用いる。

- × c PMA Index では、歯肉炎の広がりを検査する。
× d O' Leary の PCR では、歯頸部のブラークの付着の有無を評価する。

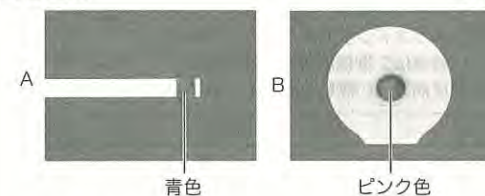
(問題 74) Dentobuff-STRIP® の結果の写真(別冊午前 No.20A)と RD テスト® の結果の写真(別冊午前 No.20B)を別に示す。

う蝕活動性の評価で正しいのはどれか。

- | | 宿主因子 | 微生物因子 |
|---|------|-------|
| a | 低い | 低い |
| b | 低い | 高い |
| c | 高い | 低い |
| d | 高い | 高い |

別冊 午前 No.20A、B

選択肢考察 答え b



- × a、○ b、× c、× d
Dentobuff-STRIP® の結果が青色となっているため唾液緩衝能は普通であり、RD テスト® の結果がピンク色となっているため細菌数が多いと判断できる。したがって、宿主因子の評価は「低い」、微生物因子の評価は「高い」となる。

(問題 75) 我が国で市販されている 2% NaF 溶液と APF 溶液の違いはどれか。2つ選べ。

- a 応用頻度
b 溶液の色
c 溶液の pH
d 1 回の応用量

選択肢考察 答え a c

- a 2%NaF 溶液の応用頻度は 2 週以内に 4 回であり、APF 溶液の応用頻度は年 1 ~ 2 回が通常であるため、応用頻度は異なる。
× b 2%NaF 溶液と APF 溶液の色は同じである。
○ c 2%NaF 溶液は中性であり、APF 溶液は酸性であるため、溶液の pH は異なる。
× d 2%NaF 溶液と APF 溶液の 1 回の応用量は同じである。

(問題 76) レジン系小窩裂溝充填塞の実施で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整は重合前に行う。
b 酸処理後は白濁を確認する。
c 重合後はフッ化物を塗布する。
d 酸処理前にフッ化物配合研磨剤による歯面清掃を行う。

選択肢考察 答え b c

- × a 咬合調整はレジンの重合後に行う。
○ b 酸処理し水洗、乾燥した後に歯面の白濁を確認する。
○ c 酸処理で歯が脱灰するため、レジンを充填・重合させた後に歯面にフッ化物を塗布する。
× d 酸処理前にフッ化物配合研磨剤による歯面清掃を行うと、レジンの接着を阻害する可能性がある。

(問題 77) 我が国における市販フッ化物配合歯磨剤のフッ化物イオン濃度の上限はどれか。

- a 500ppm
b 1,000ppm
c 1,500ppm
d 2,000ppm

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d
我が国における市販フッ化物配合歯磨剤のフッ化物イオン濃度の上限は、以前は 1,000ppm であったが、2017 年 3 月 17 日以降は 1,500ppm となった。

(問題 78) 地域保健活動の評価とその内容の組合せで正しいのはどれか。

- a プロセス評価 疾患の減少
bアウトカム評価 人員体制
c アウトプット評価 事業実施量
d ストラクチャー評価 目標設定

選択肢考察 答え c

- × a 疾患の減少はアウトカム評価である。アウトカム(結果)評価は、事業の目的・目標の達成度、成果の数値目標に対する評価である。
× b 人員体制はストラクチャー評価である。ストラクチャー(構造)評価は、事業を実施するための仕組みや体制を評価するものである。
○ c 事業実施量はアウトプット評価である。アウトプット(事業実施量)評価は、目的・目標の達成のために行われる事業の結果に対する評価である。
× d 目標設定はプロセス評価である。プロセス(過程)評価は、事業の目的や目標の達成に向けた過程(手順)や活動状況を評価するものである。

(問題 79) 脳卒中予防に対するポピュレーションアプローチはどれか。

- a 脳ドックの受診勧告
b 医師から処方された降圧薬の服用
c 特定健診で指摘された事項の遵守
d 職場のポスターで紹介された運動の励行

選択肢考察 答え d

- × a 脳ドックの受診勧告は脳卒中予防に対するハイリスクアプローチである。
× b 医師から処方された降圧薬の服用は脳卒中予防に対するハイリスクアプローチである。
× c 特定健診で指摘された事項の遵守は脳卒中予防に対するハイリスクアプローチである。
○ d 職場のポスターで紹介された運動の励行は脳卒中予防に対するポピュレーションアプローチである。

(問題 80) 認知 ADL の把握ができるのはどれか。2つ選べ。

- a Barthel Index
b 日常生活機能評価
c FIM (機能的自立度評価)
d 障害高齢者の日常生活自立度判定基準

選択肢考察 答え b c

- × a Barthel Index は「できる」ADL を評価する。
○ b 回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準に、看護必要度を修正して作られた日常生活機能評価が導入されており、認知 ADL の把握ができる。

- c FIM（機能的自立度評価）は、実際に「している」ADL を記録することで、介助量の測定が可能である。認知 ADL の把握ができる。
- ×d 障害高齢者の日常生活自立度判定基準は詳細に「寝たきり」を規定するものである。

〔問題 81〕 40 歳の女性。音波歯ブラシを歯科診療所で初めて購入したため、使用法を指導することになった。患者は口腔乾燥感を訴えている。

正しい指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 音波歯ブラシのヘッドの交換は不要です。
b 歯ブラシの音波振動で細菌を死滅させます。
c 口腔内をうるおした状態で使用してください。
d 毛先を正しく清掃部位に当てるのが大切です。

選択肢考察 答え c d

- ×a 音波歯ブラシのヘッドの交換は必要である。
×b 歯ブラシの音波振動で細菌を死滅させることはできない。
○c 口腔乾燥感があるため、口腔内を湿潤させた状態で音波歯ブラシを使用させる。
○d 音波歯ブラシの毛先を正しく清掃部位に当てることが重要である。

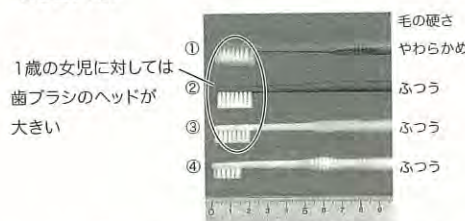
〔問題 82〕 1 歳の女児。母親とともに定期歯科健康診査のため来院した。口腔内診査の結果、歯肉は健康であったが歯垢の軽度付着が認められた。保護者から仕上げ磨きに適した歯ブラシについて質問を受けた。歯ブラシの写真（別冊午前 No.21）を別に示す。

推奨するのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.21

選択肢考察 答え d



- ×a ①は「毛の硬さ」が「やわらかめ」であるが、歯肉は健康のため「毛の硬さ」は「ふつう」でよい。
×b、×c ②や③の歯ブラシのヘッドは、1歳の女児に対して仕上げ磨きを行うためには大きい。
○d ④の歯ブラシはヘッドの大きさ、「毛の硬さ」ともに1歳の女児に対して仕上げ磨きを行うのに適している。

〔問題 83〕 27 歳の女性。市町村保健センターの妊婦歯科健康診査で歯肉炎を指摘され、歯科医院を受診した。検査の結果、妊娠時の歯肉炎と診断された。現在、妊娠 10 週で、つわりはない。

口腔衛生管理で伝える内容はどれか。

- a 出産してから処置を始めましょう。
b 炎症症状の改善のため抗菌薬を服用しましょう。
c 歯ぐきに麻酔して汚れを完全に取除きしましょう。
d 歯肉炎の原因であるプラーク除去のためしっかり磨きましょ。

選択肢考察 答え d

- ×a 妊娠 10 週でつわりがないので、現時点から口腔清掃指導を行うことが適切である。
×b 妊娠 10 週のため、必要のない抗菌薬の服用はできる限り避けるべきである。
×c 妊娠性歯肉炎に対して麻酔を行う必要はない。
○d 妊娠 10 週でつわりがないので、歯肉炎の原因であるプラーク除去のため口腔清掃指導を行うことが適切である。

〔問題 84〕 口腔疾患で 2 型糖尿病と関連があるのはどれか。2つ選べ。

- a 骨隆起
b 歯周病
c 口腔癌
d 口腔乾燥症

選択肢考察 答え b d

- ×a 骨隆起は 2 型糖尿病と関連がない。
○b 歯周病は糖尿病のリスクファクターである。また、糖尿病はペリオドンタルメディスンである。
×c 口腔癌は 2 型糖尿病と関連がない。
○d 糖尿病では口腔乾燥症がみられる。

〔問題 85〕 3 歳 7 か月の男児。3 歳児歯科健康診査の受診に保護者と訪れた。う蝕罹患型は A 型で、歯列咬合に異常はなく、清掃不良「有」の判定であった。1 歳 6 か月児歯科健康診査時では O₂ の判定を受けていたが、歯科医院の受診はしていなかったという。

事後措置で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 小児科の受診を勧める。
b 歯の清掃方法を指導する。
c 虐待が疑われるので児童相談所へ通報する。
d 歯科医院でう蝕の治療を受けるよう指導する。

選択肢考察 答え b d

- ×a 小児科の受診を勧める必要はない。
○b 清掃不良「有」の判定で、1 歳 6 か月児歯科健康診査時には O₂ の判定を受けていたが、歯科医院の受診はしていないため、歯の清掃方法を指導する必要がある。
×c 虐待が疑われる所見はないため、児童相談所へ通報する必要はない。
○d う蝕罹患型が A 型のため、歯科医院でう蝕の治療を受けるよう指導する必要がある。

〔問題 86〕 67 歳の女性。左舌癌の切除再建術後 3 週で、主治医より退院後の口腔衛生管理を依頼された。まだ創部がしみるという。来院時の口腔内写真（別冊午前 No.22）を別に示す。

口腔衛生管理を行うにあたり考慮するのはどれか。2つ選べ。

- a 鼻呼吸
b 体脂肪率
c 舌の可動域
d 患者の心理状態

別冊 午前 No.22

選択肢考察 答え c d



- ×a 口腔衛生管理を行うにあたり鼻呼吸を考慮する必要はない。
×b 口腔衛生管理を行うにあたり体脂肪率を考慮する必要はない。
○c 左舌癌の切除再建により舌の可動域が低下していると考えられるため、口腔衛生管理を行うにあたり考慮する必要がある。
○d 左舌癌の切除後に創部がしめているため、口腔衛生管理を行うにあたり患者の心理状態を考慮する必要がある。

〔問題 87〕 ある地域で「お口の健康」に関する健康教育を行うことになった。内容を決定するうえで、健康日本 21（第二次）「歯・口腔の健康」の目標に達しているか検討した。この地域の現状を表に示す。

①	過去 1 年間に歯科検診を受診した者	70%
②	20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者	30%
③	40 歳代における進行した歯周炎を有する者	50%
④	60 歳代で 24 歯以上の自分の歯を有する者	75%

目標値に達しているのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え a d

- a 健康日本 21（第二次）の「過去 1 年間に歯科検診を受診した者の割合の増加」の目標値は 65%のため、70%は目標値に達している。
×b 健康日本 21（第二次）の「20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少」の目標値は 25%のため、30%は目標値に達していない。
×c 健康日本 21（第二次）の「40 歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少」の目標値は 25%のため、50%は目標値に達していない。
○d 健康日本 21（第二次）の「60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加」の目標値は 70%のため、75%は目標値に達している。

〔問題 88〕 妊娠に関連する時期と食生活指導の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 非妊娠時——BMI 18.5 未満の者を対象に個別指導
b 初期——葉酸摂取のための栄養機能食品の推奨
c 中期——牛乳・乳製品の 1 日量の増加
d 末期——250kcal のエネルギー摂取量の付加

選択肢考察 答え a b

- a BMI 18.5 未満の者は「やせ」の判定のため、食生活の個別指導を行うことが適切である。
○b 妊娠初期に葉酸が不足すると、胎児の先天性疾患が生じる危険性が高まるため、葉酸摂取のための栄養機能食品を推奨することが適切である。
×c 妊娠中期に牛乳・乳製品の 1 日量を増加する必要はなく、牛乳・乳製品は適正量を摂取するように指導する。
×d 妊娠初期には 50kcal、妊娠中期には 250kcal、妊娠末期には 450kcal のエネルギー摂取量を付加する。

〔問題 89〕 酸蝕症を疑うのはどれか。

- a 舌突出癖
b 摂食障害
c ブラキシズム
d 歯ブラシの誤用

選択肢考察 答え b

- ×a、×c、×d 舌突出癖やブラキシズム、歯ブラシの誤用は酸蝕症の原因とはならない。

- b 拒食症など嘔吐を伴う摂食障害は酸蝕症の原因となる。

〔問題 90〕 80 歳の女性。大腿骨頸部骨折にて入院していたが、病状と栄養が改善したため、介護保険施設に再入所した。食欲があり、現在歯数は 24 歯、RSST は 5 回、食事中は口唇閉鎖し、こぼすことなく摂取している。再入所後の食形態の写真（別冊午前 No.23）を別に示す。

食生活指導で改善することが望ましいのはどれか。2つ選べ。

- a 水分にとろみをつける。
b コップを用いて自立摂取してもらう。
c ペースト食を維持することが推奨される。
d 本人の体調をみて、食形態を段階的に上げていく。

別冊 午前 No.23

選択肢考察 答え b d



ペースト食が中心の食形態

- ×a、×c RSST は 5 回、食事中は口唇閉鎖し、こぼすことなく摂取しているため、水分にとろみをつけたりペースト食を維持したりする必要はない。
○b、○d RSST は 5 回、食事中は口唇閉鎖し、こぼすことなく摂取しており、食欲があるため、本人の体調をみて食形態を段階的に上げていくことが適切であり、コップを用いて自立摂取してもらう。

〔問題 91〕 介護保険施設におけるミールラウンドで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 味覚を評価する。
b 食事場を観察する。
c 多職種と協働で行う。
d 経管栄養の適否を評価する。

選択肢考察 答え b c

- ×a ミールラウンドでは味覚は評価しない。
○b ミールラウンドでは食事場を観察する。
○c 介護保険施設におけるミールラウンドは多職種と協働で行う必要がある。
×d 介護保険施設におけるミールラウンドでは経管栄養の適否を評価しない。

〔問題 92〕 87 歳の女性。むせることがあることを主訴として歯科診療所に来院した。1 か月前に友人と会話中に意識を消失し、救急搬送されたが、次の日には歩いて退院したという。退院後に気息性嘔声が発生し、食事の際にむせることが気になっているという。

麻痺が考えられるのはどれか。

- a 顔面神経
b 舌下神経
c 舌咽神経
d 迷走神経

選択肢考察 答え d

- ×a 顔面神経は表情筋を支配する神経である。
×b 舌下神経は舌の運動を支配する神経である。
×c 舌咽神経は軟口蓋部や咽頭を支配する神経である。

- d 迷走神経は喉頭を支配する神経である。食事の際にむせているため誤嚥が疑われ、退院後に気息性嘔声が発生していることから、迷走神経麻痺が考えられる。

【問題 93】 要介護高齢者に対する摂食嚥下の段階と食事介助の組合せを表に示す。

①	先行期	介助者は食物を見せずに、スプーンで口に運ぶ。
②	準備期	スプーンの接置は舌の中央とし、軽く圧刺激する。
③	口腔期	ゼリーは基本的にクラッシュ法を用いる。
④	咽頭期	嚥下反射を確認し、次の一口を介助する。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b d

- × a 摂食嚥下の先行期では、介助者は食物を要介護高齢者に見せることが重要である。
○ b 摂食嚥下の準備期では、スプーンの接置は舌の中央とし、軽く圧刺激する。
× c 摂食嚥下の咽頭期では、ゼリーは基本的にクラッシュ法を用いる。
○ d 摂食嚥下の咽頭期では、嚥下反射を確認し、次の一口を介助する。

【問題 94】 18歳の女性。舌がいつも前に出てきていることを主訴として来院した。口腔筋機能療法(MFT)で舌尖を固定する位置(スポット)の指導を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.24)を別に示す。

固定する位置はどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.24

選択肢考察 答え a



- a ①は口腔筋機能療法(MFT)で舌尖を固定する適切な位置(スポット)である。
× b、× c、× d ②、③、④は口腔筋機能療法(MFT)で舌尖を固定する適切な位置(スポット)からは後方である。

【問題 95】 3歳の男児。脳性麻痺があり食事の際に過開口になり、スプーンを咬んだり、食べこぼしもみられる。

まず獲得すべき摂食機能はどれか。

- a 捕食機能
b 自食機能
c 押しつぶし機能
d すりつぶし機能

選択肢考察 答え a

- a 食事の際に過開口になり、スプーンを咬んだり、食べこぼしがみられるため、捕食機能を獲得すべきと考えられる。
× b、× c、× d 自食機能や押しつぶし機能、すりつぶし機能を獲得する必要はあるが、まずは捕食機能を獲得すべきと考えられる。

【問題 96】 口腔外バキューム装置を使用して吸引するのはどれか。2つ選べ。

- a 注水噴霧
b エアロゾル
c 切開時出血
d 切開時注水

選択肢考察 答え a b

- a 注水噴霧は口腔外にみられるので、口腔外バキュームを使用して吸引する。
○ b エアロゾルは口腔外にみられるので、口腔外バキュームを使用して吸引する。
× c 切開時出血は口腔内バキュームで吸引する。
× d 切開時注水は口腔内バキュームで吸引する。

【問題 97】 インシデント事例報告で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 医療安全管理の取組みである。
b 原因を追求するためのものである。
c 当事者の責任を追求するものである。
d インシデント事例はアクシデント事例より少ない。

選択肢考察 答え a b

- a 医療安全管理の取組みの1つである。
○ b、× c 当事者の責任を追求するものではなく、原因を追求するためのものである。
× d インシデント事例はアクシデント事例よりも多い。

【問題 98】 歯科医師からの指示で、シリコンゴム質印象材を用いた一次印象採得を行うことになった。①プラスチックグロブを装着してパテタイプを計量し、ベースとキャタリストを②スパチュラを用いて練和した。次にロール状にしたパテをトレーに盛り上げ、③ポリエチレンシートをかぶせて歯列に圧接した。パテの硬化後、表面に④接着剤を塗布した。

下線部で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え a c

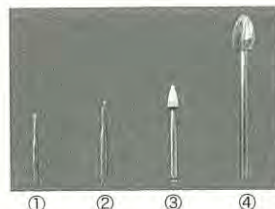
- a ラテックスグロブでシリコンゴム質印象材パテタイプを練和すると硬化阻害が生じるので、プラスチックグロブを用いる。
× b パテタイプはスパチュラではなく、手で練和する。
○ c 練和後のロール状のパテをトレーに盛り上げ、ポリエチレンシートをかぶせて歯列に圧接する。
× d パテタイプとそのほかのタイプ(レギュラータイプ、インジェクションタイプ)は接着剤なしで接着する。

【問題 99】 バーポイントの写真(別冊午前 No.25)を別に示す。マイクロモーターコントラアングルに用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.25

選択肢考察 答え b c



- × a ①はカーバイドバーで、エアタービンハンドピースに装着する。
○ b ②はスチール製のラウンドバーで、マイクロモーターコントラアングルハンドピースに装着する。
○ c ③はホワイトポイントで、マイクロモーターコントラアングルハンドピースに装着する。
× d ④は技工用カーバイドバー(スタンプバー)でマイクロモーターストレートハンドピースに装着する。

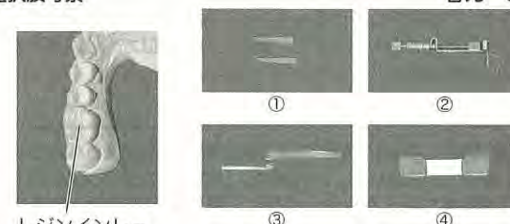
【問題 100】 23歳の女性。上顎右側第一大臼歯のう蝕治療を希望して来院した。レジンインレーの装着を予定している。作製したレジンインレーの写真(別冊午前 No.26A)と器具の写真(別冊午前 No.26B)を別に示す。

セメント合着後、最初に使用するのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.26A、B

選択肢考察 答え c



レジンインレー

- × a ①はウェッジである。隔壁法で使用する。
× b ②はタッフルマイヤー・リテーナーである。隔壁法で使用する。
○ c ③は咬合紙と咬合紙ホルダーである。レジンインレーの咬合調整はセメント合着後に口腔内で行うので、最初に使用するのは咬合紙ホルダーである。
× d ④はコンタクトゲージである。隣接面の接触状態の調整時に使用する。セメント合着前に使用する。

【問題 101】 全部床義歯製作過程で咬合採得時に使用するのはどれか。

- a 常温重合レジン
b パラフィンワックス
c モデリングコンパウンド
d ユーティリティワックス

選択肢考察 答え b

- × a 常温重合レジンの1つであるトレーレジン個人トレーや基礎床の製作に用いる。咬合採得時には咬合床(基礎床+咬合堤)は完成しているので、改めて使用することはない。
○ b パラフィンワックスは咬合床の製作に用いる。咬合採得時には咬合床の咬合堤部分にワックスを追加または削除して、リップサポート、仮想咬合平面、垂直的顎間関係(咬合高径)を決定する。
× c モデリングコンパウンドは無歯顎の概形印象採得時や筋圧形成時に用いる。
× d ユーティリティワックスは既製トレーの辺縁の修正やボクシングに用いる。

【問題 102】 全部床義歯製作過程で垂直的顎間関係の記録に用いるのはどれか。

- a 咬合紙
b バイトゲージ
c フェイスボウ
d ゴシックアーチ

選択肢考察 答え b

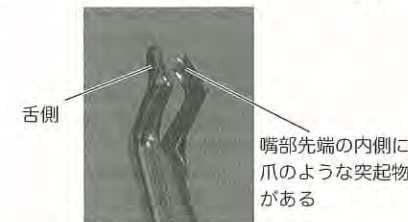
- × a 咬合紙は義歯装着時に用いる。全部床義歯の咬合採得時には使用しない。なお、部分床義歯の咬合採得時には、残存歯があるので咬合紙も用いる。
○ b バイトゲージは垂直的顎間関係の記録に用いる。バイトゲージで咬合高径(長さ)を決定する。
× c フェイスボウ(顔弓)は上顎骨と顎関節との位置関係を上顎模型と咬合器顎頭部との位置関係を咬合器に再現するために使用する。咬合採得時に行う顔弓による記録をフェイスボウトランスファーという。
× d ゴシックアーチは描記図のことで用いる器具ではない。器具であればゴシックアーチトレーサー(描記板)または描記針になる。ゴシックアーチトレーサーは水平的顎間関係の記録に用いる。

【問題 103】 抜歯鉗子の写真(別冊午前 No.27)を別に示す。使用する部位はどれか。

- a 上顎右側第一大臼歯
b 上顎左側第一大臼歯
c 下顎右側第一大臼歯
d 下顎左側第一大臼歯

別冊 午前 No.27

選択肢考察 答え a



- a、× b、× c、× d

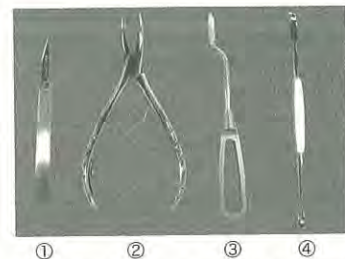
抜歯鉗子には上顎(前歯、小臼歯、大臼歯)用と下顎(前歯、小臼歯、大臼歯)用がある。基本的に左側用、右側用の区別はないが、上顎大臼歯のみ、左側用と右側用がある。頰側の近心根と遠心根の分岐部に嚙部先端の内側の爪のような突起物を適合させて歯を把持する。したがって、写真は上顎右側大臼歯用の抜歯鉗子である。

【問題 104】 外科用器具の写真(別冊午前 No.28)を別に示す。歯槽骨整形術で骨を削除するのに使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.28

選択肢考察 答え b c



- × a ①はメスの刃とメスホルダーである。歯肉を切開するために使用する。
 ○ b ②は破骨鉗子である。骨鋭縁部や骨瘤を除去するために使用する。
 ○ c ③は骨ヤスリである。骨の断端や骨鋭縁部を平滑にするために使用する。
 × d ④は粘膜剥離子である。粘膜を剥離するために使用する。

(問題 105) 矯正装置で患者自身が調整するのはどれか。

- a 咬合挙上板
 b バイオネーター
 c 急速拡大床装置
 d マルチブラケット装置

選択肢考察 答え c

- × a、× b 咬合挙上板、バイオネーターは筋の機能性を利用する矯正装置（機能的矯正装置）で、患者自身で調整するものではない。
 ○ c 患者自身あるいは保護者に急速拡大床装置のスクリューのネジを1日に1～2回動かしてもらうと、正中口蓋縫合部が1日に0.2～0.5mm側方拡大する。
 × d マルチブラケット装置は歯科医師が調整する。

(問題 106) トークンエコノミー法はどれか。

- a 身体の動きを物理的に抑制する。
 b 兄妹が上手に治療を受けている場面を観察させる。
 c これから行うことをわかりやすい言葉で説明する。
 d 治療後に上手に治療を受けたことへの褒美を与える。

選択肢考察 答え d

- × a 身体の動きを物理的に抑制するのは、抑制法である。
 × b 兄妹が上手に治療を受けている場面を観察させるのは、モデリング法である。
 × c これから行うことをわかりやすい言葉で説明するのは、Tell Show Do (TSD) 法である。
 ○ d 治療後に上手に治療を受けたことへの褒美（トークン）としてシールやカードを与えるのが、トークンエコノミー法である。

(問題 107) 高齢者の病態の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 個人差が少ない。
 b 症状が定型的である。
 c 複数の疾患を有している。
 d 電解質異常を起こしやすい。

選択肢考察 答え c d

- × a 個人差が大きい。
 × b 症状が非定型的である。同じ疾患でも若年者の場合と異なる症状を示す。
 ○ c 複数の疾患を有していることが多い。
 ○ d 高齢者では各臓器の機能が低下し、多数の薬剤を服用するため、若年者よりも水・電解質異常を起こしやすい。

(問題 108) 自発開口が困難な脳卒中患者の開口を誘導するのはどれか。2つ選べ。

- a 鼻呼吸の抑制
 b タイムアウト法
 c Kポイントの圧迫
 d 下顎を押し下げる方法

選択肢考察 答え c d

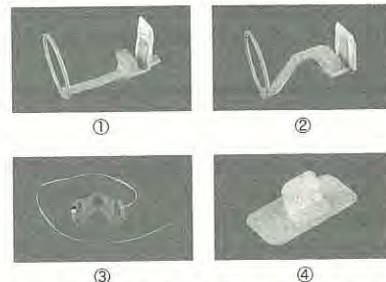
- × a 開口を誘導するというのは、鼻呼吸を抑制して口呼吸させるということではない。
 × b タイムアウト法とはオペラント条件づけ法に基づく負の強化子（罰）を利用した方法である。好ましくない行動を減少させる方法として用いられる行動療法の技法の1つで、本人だけを独りにして落ち着くのを待つ方法である。
 ○ c Kポイントとは臼後三角最後部のやや後方内側の部位である。この部位を刺激すると、嚥下反射や開口を誘発することができる。わずかに開口しているところから舌圧子やスプーンを入れ、Kポイントを軽く圧迫刺激すると開口が誘導される。
 ○ d 下顎を押し下げる方法とは、親指と人差し指を下顎の口角付近の歯肉に当てて、ゆっくりと開口方向に誘導する方法である。

(問題 109) 31歳の女性。上下顎右側第一大臼歯のう蝕の診査を希望して来院した。歯科医師より咬翼法のエックス線写真撮影の準備を指示された。撮影に必要な器具の写真（別冊午前 No.29）を別に示す。

- 準備するのはどれか。
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.29

選択肢考察 答え d

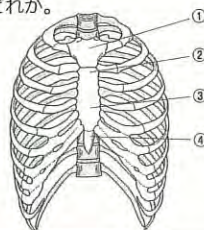


- × a ①は平行法撮影用のホルダー（前歯部用）である。
 × b ②は平行法撮影用のホルダー（臼歯部用）である。
 × c ③は誤嚥防止のためデンタルフロスを結紮したバイトブロックである。診療中の適度な開口状態を維持するために臼歯部で噛ませる。
 ○ d ④はフィルムに咬翼が付与されているので、これが咬翼法撮影用に準備したフィルムである。

(問題 110) 胸郭の図を示す。

心肺蘇生（CPR）で圧迫するのはどれか。

- a ①
 b ②
 c ③
 d ④



選択肢考察

答え c

- × a、× b、○ c、× d

胸骨圧迫心マッサージでは、術者は両手を重ね合わせ患者の胸骨の下半分の部位（③）に置き、垂直方向に1分間100～120回の割合で、胸骨が5cm沈み込むように強く、速く圧迫を繰り返す。剣状突起（④）を圧迫しないように注意しなければならない。

解説 (午後問題)

(問題 1) 神経細胞 (ニューロン) の図を示す。斜線はシュワン細胞を示す。

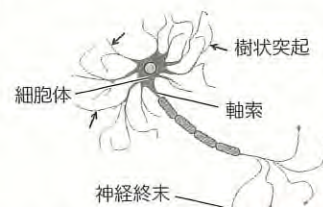
矢印が示すのはどれか。

- a 軸索
b 細胞体
c 神経終末
d 樹状突起



選択肢考察

答え d



× a、× b、× c、○ d

矢印が示すのは樹状突起である。

(問題 2) 心筋層が最も厚いのはどれか。

- a 右心房
b 左心房
c 右心室
d 左心室

選択肢考察

答え d

× a、× b、× c、○ d

大動脈につながっている左心室は、血液を全身に送り出す必要があるため、右心房や左心房、右心室と比べて心筋層が厚くなっている。

(問題 3) 顔面の写真 (別冊午後 No.1) を別に示す。

矢印が示す部位を強く押すと痛みを生じるのはどれか。

- a 眼窩下神経
b 鼻口蓋神経
c 顔面神経頰筋枝
d 顔面神経頰骨枝

別冊 午後 No.1

選択肢考察

答え a



- a 眼窩下神経は三叉神経第 2 枝 (上顎神経) の枝で知覚、痛覚に関与する。眼窩下神経は矢印で示す部位の知覚、痛覚に関与する。
× b 鼻口蓋神経は三叉神経第 2 枝 (上顎神経) の枝で知覚、痛覚に関与する。鼻口蓋神経は切歯孔を通り、上顎中切歯、側切歯付近の知覚、痛覚に関与する。
× c、× d 顔面神経は痛覚に関与しない。顔面神経は運動、味覚、分泌に関与する。

(問題 4) 上顎第一大臼歯の咬合面観と舌側面観の図を示す。灰色の領域は咬合面、黒丸は咬頭頂、点線は主要な隆線を示す。矢印が示すのはどれか。

- a 臼歯結節
b 基底結節
c 中心結節
d カラベリー結節



選択肢考察

答え d



- × a 臼歯結節は上下顎乳臼歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節である。
× b 基底結節は上顎前歯舌側歯頸隆線の発育が明瞭なもので、上顎犬歯で著明である。
× c 中心結節はおもに下顎小臼歯の咬合面にみられる結節である。
○ d カラベリー結節は上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節である。

(問題 5) 転写の際にメッセンジャー RNA (伝令 RNA) のウラシルと対をなす DNA の塩基はどれか。

- a チミン
b アデニン
c グアニン
d シトシン

選択肢考察

答え b

- × a チミンは DNA にみられる塩基で、RNA にはみられない。
○ b ウラシルと水素結合して対をなす DNA の塩基はアデニンである。ちなみにアデニンはチミンとも水素結合して対をなす。
× c、× d グアニンとシトシンは水素結合して対をなす。グアニンとシトシンはともに DNA と RNA にみられる塩基である。

(問題 6) 細胞外に比べて細胞内に多いのはどれか。

- a Ca^{2+}
b Cl^-
c K^+
d Na^+

選択肢考察

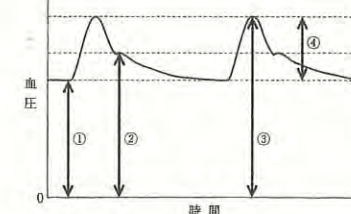
答え c

- × a Ca^{2+} は細胞外に多い。
× b Cl^- は細胞外に多い。
○ c K^+ は細胞外に比べて細胞内に多い。
× d Na^+ は細胞外に多い。

(問題 7) 動脈内の血圧変化を図に示す。

収縮期血圧はどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

答え c

- × a ①は拡張期血圧 (最小血圧) である。心臓が拡張して血液をため込むときの動脈に加わる圧力である。
× b ②は大動脈弁閉鎖時の血圧である。
○ c ③は収縮期血圧 (最大血圧) である。心臓が収縮して血液を送り出すときの動脈に加わる圧力である。
× d ④は収縮期血圧 (最大血圧) と拡張期血圧 (最小血圧) の差なので脈圧である。

(問題 8) ウイルスが原因で口腔粘膜に水泡を形成するのはどれか。

- a 天疱瘡
b 手足口病
c 口腔扁平苔癬
d 口腔カンジダ症

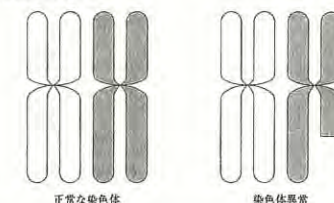
選択肢考察

答え b

- × a 天疱瘡は口腔粘膜や皮膚に水泡、びらんを形成する自己免疫疾患で、ウイルス性疾患ではない。
○ b 手足口病は口腔粘膜に水泡を形成する。コクサッキーウイルス A16 やエンテロウイルス 71 が原因のウイルス性疾患である。
× c 口腔扁平苔癬は口腔粘膜、そのほかの粘膜、皮膚に白斑や紅斑を形成する疾患で、明らかな原因は不明であるが、薬物、金属アレルギーなどとの関連が疑われる。ウイルス性疾患ではない。
× d 口腔カンジダ症は口腔粘膜や舌に偽膜、紅斑を形成する真菌感染症である。ウイルス性疾患ではない。

(問題 9) 正常な染色体と染色体異常を模式図に示す。生じた染色体の異常はどれか。

- a 逆位
b 欠失
c 重複
d 転座



選択肢考察

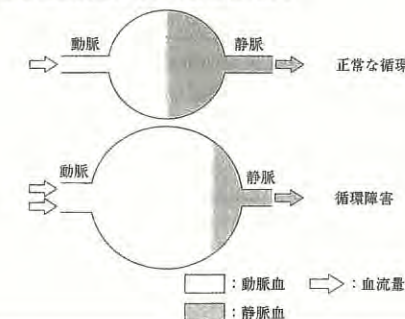
答え b

- × a 染色体の一部の方向性が逆になったものを逆位という。
○ b 模式図では染色体の一部 (末端部分の場合も中間部分の場合もある) が消失しているため欠失である。
× c 染色体の一部が本来の場所に隣接または別の場所に付け加わったものを重複という。
× d 染色体の一部が同一染色体の別の場所または別の染色体に移ったものを転座という。

(問題 10) 正常な循環と循環障害を模式図に示す。

循環障害が生じた組織にみられるのはどれか。

- a 虚血
b 出血
c 充血
d うっ血



選択肢考察

答え c

- × a 血管の圧迫や塞栓症による局所の血液量の減少を虚血という。
× b 血液 (血球 + 血漿) が血管外に出ることを出血という。
○ c 模式図では動脈血の供給が増加しているため充血である。
× d 局所の静脈血が増加することをうっ血という。

(問題 11) 間接感染はどれか。

- a 経口感染
b 垂直感染
c 接触感染
d 飛沫感染

選択肢考察

答え a

- a 経口感染、空気感染、動物媒介感染は間接感染である。
× b、× c、× d 垂直感染、接触感染、飛沫感染は直接感染である。

(問題 12) 菌数の割合で成熟ブランクに比べて初期ブランクに多いのはどれか。

- a 運動性菌
b 紡錘状菌
c 偏性嫌気性菌
d グラム陽性球菌

選択肢考察

答え d

- × a 運動性菌は成熟ブランクに多い。
× b 紡錘状菌は成熟ブランクに多い。
× c 偏性嫌気性菌は成熟ブランクに多い。
○ d グラム陽性球菌は初期ブランクに多い。

(問題 13) 偽薬により出現する薬理学的効果はどれか。

- a 天上効果
b 予防効果
c プラセボ効果
d オフターゲット効果

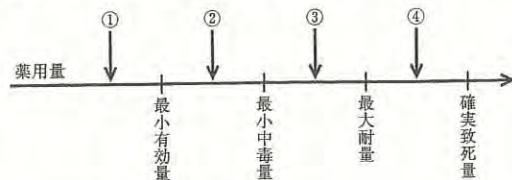
選択肢考察

答え c

- × a 用量を増加しても、ある用量 (天上) に達すると効果の増加がなく、副作用のみが増強する。これを天上効果という。
× b 偽薬により効果を示すのは、予防効果ではない。
○ c プラセボとは偽薬のことである。薬理学的活性のない物質を薬として医師が投与した場合に、患者に対して暗示的影響の結果、効果を示すことがあり、これをプラセボ効果という。
× d オフターゲットとは、薬物の本来目的とした標的分子と

は異なる標的分子を意味する。薬物は必ずしも目的とした標的のみに結合するとは限らず、想定外の標的への相互作用は副作用の原因にもなる。これをオフターゲット効果という。

(問題 14) 薬用量の用語を用量順に並べて図に示す。



50%有効量はどれか。

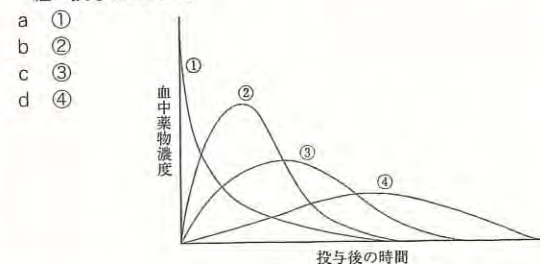
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え b

- × a ①は無効量の中の1点である。
- b ②は50%有効量である。最小中毒量は最大有効量ともいう。
- × c ③は50%中毒量である。最大耐量は最小致死量とほぼ同じである。
- × d ④は50%致死量である。

(問題 15) 筋肉内投与、経口投与、静脈内投与および皮下投与の血中薬物濃度-時間曲線を図に示す。経口投与はどれか。



選択肢考察

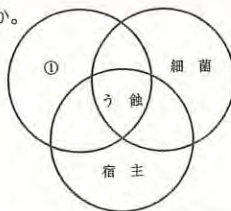
答え d

- × a ①は静脈内投与である。
- × b ②は筋肉内投与である。
- × c ③は皮下投与である。
- d ④は経口投与である。

(問題 16) う蝕発生に関与する3つの因子 (Keyesの輪) を図に示す。

①に対する特異的防御法はどれか。

- a 栄養指導
- b フッ化物の応用
- c 代用甘味料の使用
- d ブラークコントロール



選択肢考察

答え c

- × a 栄養指導は食事性要因に対するう蝕予防法で、第1次予防の健康増進である。
- × b フッ化物の応用は宿主要因に対するう蝕予防法である。
- c ①は食事性要因である。代用甘味料の使用は食事性要因に対するう蝕予防法で、第1次予防の特異的防御法である。

- × d ブラークコントロールは微生物要因に対するう蝕予防法である。

(問題 17) 歯石により増加する歯周病のリスクはどれか。

- a 食片圧入
- b 色素沈着
- c 外傷性咬合
- d ブラーク付着

選択肢考察

答え d

- × a、× b、× c 食片圧入や色素沈着、外傷性咬合は歯石により増加する歯周病のリスクではない。
- d 歯石の表面は粗造でブラークが付着しやすい。ブラーク付着は歯石により増加する歯周病のリスクである。

(問題 18) 児童Aと児童Bのう蝕活動性試験の結果の写真(別冊午後No.2)を別に示す。

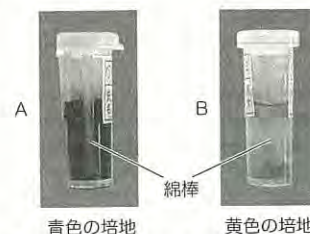
児童Bで高いのはどれか。

- a 唾液の緩衝能
- b 歯質の耐酸性
- c 歯垢の酸産生能
- d 唾液中の乳酸桿菌数

別冊 午後 No.2

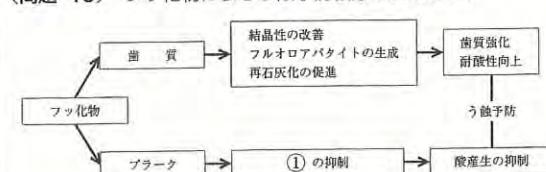
選択肢考察

答え c



- × a 唾液の緩衝能が判定できるう蝕活動性試験はDreizen test(乳酸滴定試験)などである。
- × b 歯質の耐酸性が判定できるう蝕活動性試験はセルロース・アセテートディスク法などである。
- c 写真では培地中に綿棒がみられ、児童Aは青色、児童Bは黄色の培地のため、行ったう蝕活動性試験はカリオスタット®と考えられる。カリオスタット®は歯垢の酸産生能が判定できる。
- × d 唾液中の乳酸桿菌数が判定できるう蝕活動性試験はDentocult®-LBなどである。

(問題 19) フッ化物によるう蝕予防機序を図に示す。



①はどれか。

- a 細菌の酵素作用
- b 細菌の歯面付着
- c 不溶性グルカン合成
- d 菌体内への糖の取り込み

選択肢考察

答え a

- a ①は細菌の酵素作用である。フッ化物は解糖系酵素であるエノラーゼを阻害することで酸産生を抑制する。

- × b、× c、× d フッ化物には細菌の歯面付着の抑制、不溶性グルカン合成の抑制、菌体内への糖の取り込みの抑制という作用はない。

(問題 20) 25歳の女性。健康相談会で、上顎前歯の形態異常を相談された。口腔内を観察したところ、前歯部に歯の損耗(Tooth wear)がみられた。う蝕は認められなかった。

原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 歯ぎしり
- c 抗菌薬の服用
- d 管楽器の演奏

選択肢考察

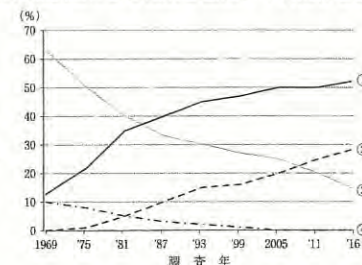
答え b d

- × a、× c 口呼吸や抗菌薬の服用は前歯部の歯の損耗(Tooth wear)の原因とは考えにくい。
- b、○ d 歯ぎしりや管楽器の演奏は前歯部の歯の損耗(Tooth wear)の原因として考えられる。

(問題 21) 歯科疾患実態調査による歯磨き回数の年次推移を図に示す。

①はどれか。

- a 時々みがく
- b 1日1回
- c 1日2回
- d 1日3回以上



選択肢考察

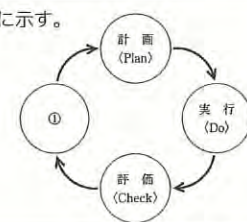
答え c

- × a 歯科疾患実態調査の結果で、④は「時々みがく」である。
- × b 歯科疾患実態調査の結果で、③は「1日1回」である。
- c 歯科疾患実態調査の結果で、①は「1日2回」である。
- × d 歯科疾患実態調査の結果で、②は「1日3回以上」である。

(問題 22) PDCAサイクルを図に示す。

①はどれか。

- a 目標(Aim)
- b 改善(Action)
- c 能力(Ability)
- d 分析(Analysis)



選択肢考察

答え b

- × a、○ b、× c、× d PDCAサイクルは「質の改善論」といわれ、計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)の4つの段階をスパイラル的に繰り返し行うことにより質を改善していく方法である。

(問題 23) 大規模災害時に避難所を中心とした口腔保健支援を開始すべき時期はどれか。

- a 発災12時間以内
- b 発災後1～3日
- c 発災後2～4週
- d 発災3か月以降

選択肢考察

答え b

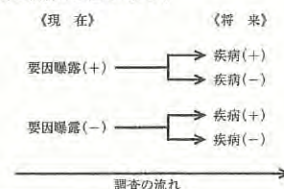
- × a、○ b、× c、× d

大規模災害時に避難所を中心とした口腔保健支援を開始すべき時期は発災後1～3日である。

(問題 24) 観察的疫学研究の流れを図に示す。

この方法はどれか。

- a 横断研究
- b 生態学的研究
- c 患者対照研究
- d コホート研究



選択肢考察

答え d

- × a 現在から将来に向けて観察的疫学研究を行っているため縦断研究である。
- × b 生態学的研究ではない。
- × c 患者対照研究は結果で2群にわけ、過去にさかのぼって(後ろ向き)観察的疫学研究を行う方法である。
- d コホート研究は原因で2群にわけ、将来に向かって(前向き)観察的疫学研究を行う方法である。

(問題 25) 予防接種法による定期予防接種はどれか。2つ選べ。

- a 麻疹
- b 狂犬病
- c B型肝炎
- d 流行性耳下腺炎

選択肢考察

答え a c

- a、○ c 麻疹やB型肝炎は「予防接種法」による定期予防接種である。
- × b、× d 狂犬病や流行性耳下腺炎は任意予防接種である。

(問題 26) 食品に表示されているマークを示す。

根拠となる法律はどれか。

- a 食品表示法
- b 食品衛生法
- c 健康増進法
- d 食育基本法



選択肢考察

答え c

- × a 「食品表示法」は整合性の取れた食品の表示基準などが規定されている。
- × b 「食品衛生法」は食品の安全性の確保などが規定されている。
- c 食品に表示されているマークは特定保健用食品に付与されるマークである。「健康増進法」に基づく「特別の用途に適する旨の表示」の許可には特定保健用食品も含まれる。
- × d 「食育基本法」は食育の推進などが規定されている。

(問題 27) 健康増進法に基づく事業はどれか。2つ選べ。

- a 特殊健康診査
- b 歯周疾患検診
- c 生活機能評価
- d 骨粗しょう症検診

選択肢考察

答え b d

- × a 特殊健康診査は「労働安全衛生法」に基づいて行われる。
- b、○ d 歯周疾患検診や骨粗しょう症検診は「健康増進法」に基づいて行われる。
- × c 生活機能評価は「介護保険法」に基づいて行われる。

(問題 28) 作業環境管理の目的はどれか。2つ選べ。

- a 障害の予防
- b 有害物の除去
- c 有害物の発生の抑制
- d 有害物の体内侵入の抑制

選択肢考察 答え b c
 × a、× d 障害の予防や有害物の体内侵入の抑制は作業環境管理の目的ではない。
 ○ b、○ c 有害物の除去や有害物の発生の抑制は作業環境管理の目的である。

(問題 29) 国会の議決により制定されるのはどれか。

- a 政 令
- b 省 令
- c 法 律
- d 条 例

選択肢考察 答え c
 × a 政令は、内閣が制定する命令である。
 × b 省令は、各省大臣が自己の所管の行政事務について、法律や政令を施行するためまたは法律や政令の特別の委任に基づいて発する命令である。
 ○ c 法律は、国会の議決によって制定されるものである。
 × d 条例は、地方公共団体の議会の議決によって制定されるものである。

(問題 30) 定期的に歯科検診を受けることを勧奨しているのはどれか。

- a 健康増進法
- b 健康保険法
- c 歯科口腔保健の推進に関する法律
- d 高齢者の医療の確保に関する法律

選択肢考察 答え c
 × a、× b、× d 「健康増進法」や「健康保険法」、「高齢者の医療の確保に関する法律」では定期的に歯科検診を受けることを勧奨していない。
 ○ c 「歯科口腔保健の推進に関する法律」では定期的に歯科検診を受けることを勧奨している。

(問題 31) 歯科衛生士法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯科予防処置は歯科衛生士の業務独占である。
- b 業務に従事する歯科衛生士は2年毎に届け出る。
- c 歯科衛生士業務は歯科衛生士国家試験合格日から行える。
- d 歯科衛生士名簿の登録事項に業務従事先の名称が登録される。

選択肢考察 答え a b
 ○ a 歯科予防処置と歯科診療の補助は歯科衛生士の業務独占である。歯科保健指導は名称独占である。
 ○ b 業務に従事する歯科衛生士は2年毎に就業地の都道府県知事に届け出る。
 × c 歯科衛生士業務は歯科衛生士名簿に登録されてから行うことができる。
 × d 歯科衛生士名簿の登録事項は以下の通りで、業務従事先の名称は登録されない。
 一 登録番号及び登録年月日
 二 本籍地都道府県名、氏名及び生年月日
 三 歯科衛生士試験合格の年月
 四 免許の取消し又は業務の停止の処分に関する事項

五 再免許の場合には、その旨

六 歯科衛生士免許証若しくは歯科衛生士免許証明書を書換え交付し、又は再交付した場合には、その旨並びにその理由及び年月日
 七 登録の抹消をした場合には、その旨並びにその理由及び年月日

(問題 32) 対象者の問題解決に向けた目標設定の留意点で適切なのはどれか。2つ選べ。
 a 理想的なものにする。
 b 目標は多いほうがよい。
 c 観察と測定が可能である。
 d 達成までの期限を設定する。

選択肢考察 答え c d
 × a 目標は理想的なものではなく、実現可能なものにし、成功体験を繰り返すことが重要である。
 × b 目標は少ないほうが実現可能になる。
 ○ c 観察と測定が可能で、客観的評価ができることが重要である。
 ○ d 達成までの期限、数値目標を設定することが重要である。

(問題 33) ヒューマンエラー対策で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 直感的に対応する。
 b 障害に至らない仕組みづくりを行う。
 c 標準化したマニュアルの作成は避ける。
 d フールプルーフを応用した医療機器を導入する。

選択肢考察 答え b d
 × a 直感的に対応するとヒューマンエラーが生じやすい。
 ○ b 障害に至らない、つまり、ミスが生じない仕組みづくりを行うことはヒューマンエラー対策になる。
 × c 標準化したマニュアルの作成はヒューマンエラー対策になる。
 ○ d フールプルーフとは、機器の設計などについての考え方の1つで、誤った操作や危険な使い方ができないような構造やシステムを設計段階で組み込むことをいう。これを応用した医療機器を導入することはヒューマンエラー対策になる。

(問題 34) 下顎限界運動路の図を示す。下顎安静位はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 答え b
 × a ①は咬頭嵌合位である。
 ○ b ②は下顎安静位である。
 × c ③は最大開口位である。
 × d ④は最前方咬合位である。

(問題 35) バイタルサインのモニタリング項目と成人の正常値の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a SpO₂ ——— 87 ~ 90%
- b 血 圧 ——— 160 ~ 179/100 ~ 109mmHg
- c 脈 拍 ——— 60 ~ 100 回 / 分
- d 呼吸数 ——— 12 ~ 20 回 / 分

選択肢考察 答え c d
 × a SpO₂ の基準値はおおよそ 96% 以上である。
 × b 血圧が 160 ~ 179/100 ~ 109mmHg であるのはⅡ度高血圧である。正常高値血圧が 130 ~ 139/85 ~ 89mmHg である。
 ○ c 脈拍の成人の基準値は 60 ~ 100 回 / 分である。
 ○ d 呼吸数の成人の基準値は 12 ~ 20 回 / 分である。

(問題 36) 3 歳児の口腔模型の観察で確認できるのはどれか。2つ選べ。

- a 霊長空隙
- b 歯冠歯根比
- c ターミナルプレーン
- d リーウェイスペース

選択肢考察 答え a c
 ○ a 霊長空隙は上顎乳側切歯と乳犬歯との間、下顎乳犬歯と第一乳臼歯との間にみられる空隙であり、3 歳児の口腔模型の観察で確認できる。
 × b 歯冠歯根比は歯冠長と歯根長の比であり、口腔模型の観察では確認できない。
 ○ c ターミナルプレーンは上下顎第二乳臼歯遠心面がつくる面であり、3 歳児の口腔模型の観察で確認できる。
 × d リーウェイスペースは側方歯群の乳歯と永久歯の歯冠近遠心幅の差であり、口腔模型の観察では確認できない。

(問題 37) 鼻咽腔閉鎖不全が明確となる発音はどれか。

- a バ
- b タ
- c カ
- d ラ

選択肢考察 答え c
 × a、× b、○ c、× d
 バは口唇の機能、タやラは舌前方の機能、カは舌後方の機能に影響されやすく、鼻咽腔閉鎖機能不全でも発音しにくくなるが、選択肢のなかでとくに鼻咽腔閉鎖不全が明確となる発音はカである。

(問題 38) 16 歳の男子。歯肉の違和感を主訴として来院した。診査の結果、う蝕は認められず、最深部のブローピング深さは 4mm であった。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.3) を別に示す。

最初に行うのはどれか。

- a スケーリング
- b 歯間ブラシの指導
- c ブラッシング指導
- d ルートプレーニング

別冊 午後 No.3

選択肢考察 答え c



歯肉の発赤・腫脹

× a、× d スケーリングやルートプレーニングは歯周基本治療で行うものであるが、口腔清掃状態が良好になってから行う。
 × b 歯間ブラシはおもに歯肉退縮により歯間部に空隙がある場合に用いる補助的清掃器具である。
 ○ c 歯肉の発赤・腫脹をみると、最深部のブローピング深さが 4mm であるため、まず歯周基本治療としてブラッシング指導を行うのがよい。

(問題 39) 34 歳の女性。上顎左側犬歯の冷水痛を主訴として来院した。う蝕症第2度と診断され、コンボジットレジン修復を行うことになった。処置中の口腔内写真 (別冊午後 No.4) を別に示す。

使用している器具の目的はどれか。

- a レジンの付形
- b 残存歯質の補強
- c 色調適合性の向上
- d レジンの重合度向上

別冊 午後 No.4

選択肢考察 答え a



セルロイドストリップをウッドウェッジで固定している

○ a 処置中の写真をみると、隣接面う蝕に対してセルロイドストリップを設置しウッドウェッジで固定しているのがわかる。これはレジンの付形を目的としている。
 × b 残存歯質の補強はセルロイドストリップやウッドウェッジを使用する目的ではない。
 × c 色調適合性の向上はセルロイドストリップやウッドウェッジを使用する目的ではない。
 × d レジンの重合度向上はセルロイドストリップやウッドウェッジを使用する目的ではない。

(問題 40) 38 歳の女性。下顎右側臼歯部の冷水痛を主訴として来院した。小臼歯および大臼歯にう蝕を認めたため間接修復を行うことになった。完成した修復物の写真 (別冊午後 No.5) を別に示す。

合着に適するセメントはどれか。

- a レジンセメント
- b リン酸亜鉛セメント
- c カルボキシレートセメント
- d グラスイオノマーセメント

別冊 午後 No.5

選択肢考察 答え a

(問題 50) 72 歳の男性。下顎右側臼歯部へのインプラント治療を希望して歯科診療所へ来院した。検査中に右側舌縁部に白色病変を発見した。白色病変の中央部には表面が乳頭状で、扁平に隆起した無痛性の腫瘍が認められた。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.13)を別に示す。

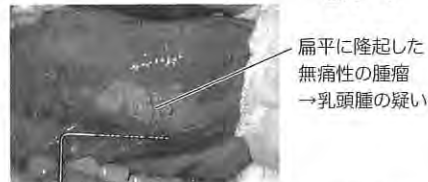
次の対応として考えられるのはどれか。

- a 切除術
- b 経過観察
- c 専門医へ紹介
- d インプラント治療の開始

別冊 午後 No.13

選択肢考察

答え c



- × a 切除術よりもまずは診断を優先する。確定診断前に切除することは避けるべきである。
- × b 腫瘍の大きさから経過観察ではなく、白色病変の診断および治療を行うべきである。
- c 白色病変の診断および治療のために専門医を紹介する。
- × d 白色病変の診断および治療後に、インプラント治療を開始する。

(問題 51) 周術期の口腔機能管理により期待されるのはどれか。2つ選べ。

- a がん性疼痛の予防
- b 術後誤嚥性肺炎の予防
- c 放射線治療中の口内炎の改善
- d 化学療法中の骨髄抑制の改善

選択肢考察

答え b c

- × a がん性疼痛には鎮痛薬を使用し、口腔機能管理で予防できるものではない。
- b 周術期には手術に必要な3つの段階(術前、術中、術後)が含まれる。周術期の口腔機能管理は口腔内の細菌数を少なくして、創部感染の予防、術後誤嚥性肺炎の予防を図るのを目的とする。
- c 口内炎は放射線治療の開始後2～3週間で出現する。抗悪性腫瘍薬の併用や細菌感染があると口内炎が悪化するのので、口内炎の改善を期待して周術期の口腔機能管理を行う。
- × d 周術期の口腔機能管理で化学療法中の骨髄抑制を改善することはできない。

(問題 52) 11歳の女児。上顎前歯部の歯並びの異常を主訴として来院した。永久歯の交換期から気になっていたという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.14)を別に示す。

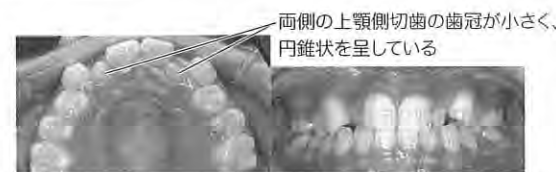
上顎側切歯の異常はどれか。

- a 矮小歯
- b 移転歯
- c 埋伏歯
- d 斑状歯

別冊 午後 No.14

選択肢考察

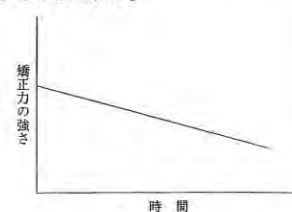
答え a



- a 写真を見ると、両側の上顎側切歯の歯冠が小さく矮小歯である。
- × b 上顎側切歯は舌側に転位しているが移転歯ではない。
- × c 上顎側切歯は歯冠が口腔内に萌出しており埋伏歯ではない。
- × d 斑状歯は歯のフッ素症でみられるが、写真から上顎側切歯は斑状歯ではない。

(問題 53) 矯正力の強さと作用時間の関係を図に示す。この様式の矯正力を発揮するのはどれか。

- a ヘッドギア
- b 急速拡大装置
- c アクチバートル
- d マルチブラケット装置



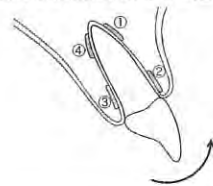
選択肢考察

答え d

- × a、× c ヘッドギアやアクチバートルは装置を装着しているときに矯正力が発揮されるため、間欠的な矯正力である。
- × b 急速拡大装置は断続的な矯正力を発揮する。
- d 図を見ると、矯正力の強さが時間経過とともにゆるやかに減少しており、持続的な矯正力であると判断できる。マルチブラケット装置は持続的な矯正力を発揮する。

(問題 54) 適正な矯正力による歯の移動を模式図に示す。矢印で示す歯の移動で骨吸収が生じるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え b d

- × a、○ b、× c、○ d
- 矢印で示す歯の移動は唇側への傾斜移動である。唇側傾斜移動では、①および③で骨添加が生じ、②および④で骨吸収が生じる。

(問題 55) 矯正装置を装着した模式図(別冊午後 No.15)を別に示す。

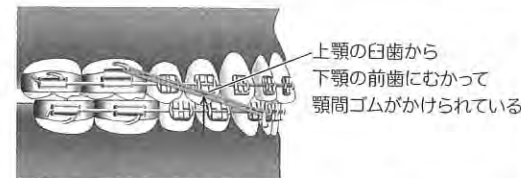
矢印で示す固定の種類はどれか。

- a 垂直ゴム
- b 交叉ゴム
- c II級ゴム
- d III級ゴム

別冊 午後 No.15

選択肢考察

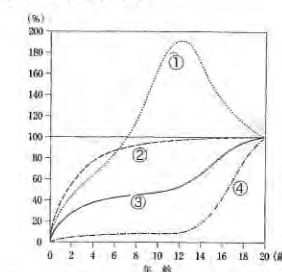
答え d



- × a 垂直ゴムは上下顎歯列間に垂直にかけるゴムである。
- × b 交叉ゴムは上顎側側から下顎舌側にむかって咬合面を超えて斜めにかけるゴムである。
- × c II級ゴムは下顎の臼歯から上顎の前歯・犬歯に向かってかけるゴムである。
- d III級ゴムは上顎の臼歯から下顎の前歯・犬歯に向かってかけるゴムである。

(問題 56) Scammon の発育曲線を図に示す。視覚器の発育パターンを示すのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え b

- × a ①はリンパ系型である。
- b ②は神経系型であり、視覚器は神経系型の発育パターンを示す。
- × c ③は一般系型である。
- × d ④は生殖器系型である。

(問題 57) 4歳の女児。保育園で転倒して上顎左側乳中切歯が脱落し、保険装置を製作することになった。創傷治療後の口腔内写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

考えられる装置はどれか。

- a 可撤保険装置
- b リンガルアーチ
- c バンドループ保険装置
- d ナンスのホールディングアーチ

別冊 午後 No.16

選択肢考察

答え a



- a 上顎左側乳中切歯の早期脱落であり、審美障害や発音障害などを考慮して可撤保険装置を装着するのがよい。
- × b、× d リンガルアーチやナンスのホールディングアーチは乳臼歯の欠損に用いるもので、前歯部早期脱落に対する審美障害などに対応できない。
- × c バンドループ保険装置は乳臼歯の1歯欠損に適用する。

(問題 58) オーラルジスキネジアで正しいのはどれか。

- a 鼻唇溝の消失
- b 舌・上唇の強直
- c 常動性の不随意運動
- d 抗ウイルス薬の副作用

選択肢考察

答え c

- × a オーラルジスキネジアでは鼻唇溝の消失はみられない。
- × b オーラルジスキネジアでは舌・上唇の強直はみられない。
- c オーラルジスキネジアでは常動性の不随意運動がみられる。
- × d オーラルジスキネジアは抗パーキンソン病薬や抗精神病薬の副作用としてみられることがある。

(問題 59) 高齢者に発症しやすい口腔粘膜疾患はどれか。

- a 口腔白板症
- b ヘルパンギーナ
- c 多形滲出性紅斑
- d リガ・フェーデ病

選択肢考察

答え a

- a 口腔白板症は高齢者に発症しやすい口腔粘膜疾患である。
- × b ヘルパンギーナは乳幼児に発症しやすい口腔粘膜疾患である。
- × c 多形滲出性紅斑は幅広い年齢で発症する口腔粘膜疾患である。
- × d リガ・フェーデ病は乳児に発症しやすい口腔粘膜疾患である。

(問題 60) 88歳の男性。介護保険施設に入所中である。認知機能の低下がみられ、摂食障害のため胃腸での管理が行われている。寝返りも介助で行っているという。患者が普段過ごしている状態の写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

この患者の日常生活自立度(寝たきり度)として正しいのはどれか。

- a ランクA
- b ランクB
- c ランクC
- d ランクJ

別冊 午後 No.17

選択肢考察

答え c



寝たきりの状態

- × a ランクAは屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない状態である。
- × b ランクBは屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ状態である。
- c ランクCは1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する状態である。患者が普段過ごしている状態の写真から寝たきり状態と判断でき、寝返りも介助で行っていることから、この患者の日常生活自立度(寝たきり度)はランクCと考えられる。

- × d ランク J は何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する状態である。

次の文を読み、(問題 61)、(問題 62) に答えよ。
15 歳の男子。う蝕治療を希望して来院した。デュシェンヌ型筋ジストロフィーで歩行困難である。

(問題 61) この病型の遺伝形式はどれか。

- a X連鎖潜性(劣性)遺伝
b X連鎖顕性(優性)遺伝
c 常染色体潜性(劣性)遺伝
d 常染色体顕性(優性)遺伝

選択肢考察 答え a

- a、× b、× c、× d
デュシェンヌ型筋ジストロフィーの遺伝形式は X連鎖潜性(劣性)遺伝のため、患者は男性に限られる。

(問題 62) この疾患の口腔内の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 開咬
b 巨舌
c 過剰歯
d 歯列弓狭窄

選択肢考察 答え a b

- a、○ b デュシェンヌ型筋ジストロフィーでは巨舌に伴い開咬がみられる。
× c デュシェンヌ型筋ジストロフィーでは過剰歯はみられない。
× d デュシェンヌ型筋ジストロフィーでは巨舌に伴い歯列弓の拡大がみられる。

(問題 63) 老年期に特徴的なう蝕はどれか。

- a 隣接面う蝕
b 歯頸部う蝕
c 歯根面う蝕
d 小窩裂溝う蝕

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d
歯根面う蝕は歯根面が露出した患者に発症するため、老年期に特徴的なう蝕といえる。隣接面う蝕や歯頸部う蝕、小窩裂溝う蝕は老年期に特徴的なう蝕とはいえない。

(問題 64) ブラーク中の有機成分で最も多いのはどれか。

- a 微生物
b 血球成分
c グルカン
d 糖タンパク質

選択肢考察 答え a

- a、× b、× c、× d
ブラーク中の有機成分のおよそ 70% は微生物であり、最も多い成分である。その他の成分として細菌が産生したグルカンや唾液由来の糖タンパク質、血球成分などがある。

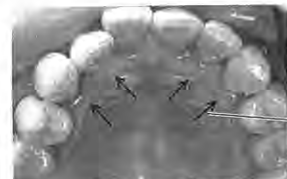
(問題 65) 口腔内写真(別冊午後 No.18)を別に示す。矢印が示す所見の原因として考えられるのはどれか。

- a 口呼吸
b 低栄養
c 心内膜炎
d ストレス

別冊 午後 No.18

選択肢考察

答え a



矢印は
テンションリッジ
(堤状隆起)を示す

- a、× b、× c、× d

写真を見ると、矢印で示す所見はテンションリッジ(堤状隆起)であることがわかる。テンションリッジは口呼吸の患者にみられる所見であり、口呼吸が原因として考えられる。テンションリッジの原因として低栄養や心内膜炎、ストレスは考えられない。

(問題 66) グレーシータイプキュレット刃部の写真(別冊午後 No.19)を別に示す。適した部位はどれか。

- a 14 頬側近心
b 27 口蓋側遠心
c 36 舌側近心
d 47 頬側遠心

別冊 午後 No.19

選択肢考察

答え b



13 グレーシータイプキュレット

- × a 14 頬側近心は # 12 グレーシータイプキュレットが適している。
○ b 27 口蓋側遠心は写真で示されている # 13 グレーシータイプキュレットが適している。
× c 36 舌側近心は # 11 グレーシータイプキュレットが適している。
× d 47 頬側遠心は # 14 グレーシータイプキュレットが適している。

(問題 67) 歯周病の予防計画で誤っているのはどれか。

- a 対象者の全身状態を考慮する。
b 検査結果から予防計画を立案する。
c インフォームドコンセントを得る。
d プロフェッショナルケアを優先する。

選択肢考察 答え d

- a 歯周病の予防計画では対象者の全身状態を考慮するのがよい。
○ b 検査結果から予防計画を立案することは適切である。

○ c 歯周病の予防計画でインフォームドコンセントを得ることは適切である。

× d プロフェッショナルケアを優先することは歯周病の予防計画で適切でない。

(問題 68) 初診時と SPT 時の歯周組織検査の一部を表に示す。

《初診時》					《SPT 時》				
舌側	アタッチメントレベル (mm)	5	3	6	舌側	アタッチメントレベル (mm)	5	3	5
	ブローピングデプス (mm)	5	3	6		側	ブローピングデプス (mm)	3	2
歯 種		46			歯 種		46		
頬側	アタッチメントレベル (mm)	3	3	4	頬側	アタッチメントレベル (mm)	2	2	3
	ブローピングデプス (mm)	4	3	5		側	ブローピングデプス (mm)	4	3

アタッチメントゲインがみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 頬側近心
b 頬側遠心
c 舌側近心
d 舌側遠心

選択肢考察 答え a b、a c、b c (厚労省発表)

○ a、○ b、○ c 初診時より SPT 時のアタッチメントレベルが減少している部位がアタッチメントゲインがみられる部位である。初診時と SPT 時を比較すると、頬側近心と頬側遠心、舌側近心で 1mm のアタッチメントゲインがみられることが判断できる。

× d 舌側遠心は初診時と SPT 時のアタッチメントレベルに変化がなく、アタッチメントゲインはみられない。

(問題 69) 58 歳の男性。下顎右側臼歯部の違和感を主訴として来院した。う窩は認められない。初診時のエックス線写真(別冊午後 No.20)を別に示す。

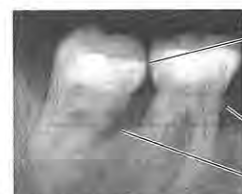
原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 食片圧入
b 根尖病巣
c 歯肉の炎症
d アンキローシス

別冊 午後 No.20

選択肢考察

答え a c



○ a 隣在歯の辺縁隆線の不整や歯間離開、垂直性骨吸収など食片圧入を疑う所見がある。違和感の原因として食片圧入が考えられる。

× b エックス線写真で根尖病巣はみられない。

○ c 骨吸収や歯石がみられるため、違和感の原因として歯肉の炎症が考えられる。

× d アンキローシスはエックス線写真で確認できない。

(問題 70) 45 歳の女性。事業所の歯科健康診査で行った OHI の結果を表に示す。

《DI》																		
唇側	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2				
口蓋側	1	1	0	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1				
舌側	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7				
舌側	2	2	1	1	0	1	1	0	0	1	1	2	2	2				
唇側	1	2	1	1	1	1	0	1	1	2	1	1	1	1				

《CI》																		
唇側	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	2	3	2				
口蓋側	1	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	2	3				
舌側	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7				
舌側	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2			
唇側	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	2	2	2	2				

歯肉縁下歯石の沈着が疑われるのはどれか。2つ選べ。

- a 上顎前歯部
b 上顎左側臼歯部
c 下顎左側臼歯部
d 下顎右側臼歯部

選択肢考察 答え b c

× a、× d 上顎前歯部および下顎右側臼歯部は CI のスコア 1 の部位があるため、歯肉縁下歯石が沈着している。

○ b、○ c OHI において歯肉縁下歯石の沈着が疑われるのは、CI のスコアが 2 あるいは 3 の部位である。したがって、歯肉縁下歯石の沈着が疑われるのは上顎左側臼歯部および下顎左側臼歯部である。

(問題 71) 生活習慣と関連する疾患の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙 ——— 歯周病
b 飲酒 ——— 肺気腫
c 食生活 ——— 脂質異常症
d 運動習慣 ——— う蝕

選択肢考察 答え a c

- a 喫煙は歯周病のリスクファクターである。
× b 飲酒と肺気腫に関連はない。
○ c 脂質異常症は食生活習慣や運動習慣などに関連して発症する。
× d 運動習慣とう蝕に関連はない。

(問題 72) PMTC の術式で行わないのはどれか。

- a 歯面研磨
b 歯垢除去
c フッ化物応用
d ルートプレーニング

選択肢考察 答え d

- a、○ b、○ c PMTC では歯垢の除去および歯面研磨を行い、フッ化物の塗布を行う。
× d ルートプレーニングは歯周基本治療で行うものであり、PMTC の術式で行うものではない。

(問題 73) SPT の間隔を決定するのに考慮するのはどれか。2つ選べ。

- a 身長
b 喫煙
c 血圧
d 骨粗鬆症

選択肢考察

答え b d

- × a、× c 身長や血圧は SPT の間隔を決定するのに考慮するものではない。
- b、○ d 喫煙や骨粗鬆症は歯周病のリスクファクターであり、SPT の間隔を決定するのに考慮するとよい。

(問題 74) 5 歳の男児。う蝕予防を目的として保護者と来院した。う蝕はなく、ブラッシング状況も良好であるため、フッ化物によるう蝕予防を勧めることになった。

適切な対応はどれか。

- a フッ化物歯面塗布
- b フッ化ジアンミン銀塗布
- c フッ化物バーニッシュ塗布
- d 1,450ppmF フッ化物配合歯磨剤利用の推奨

選択肢考察

答え a

- a 5 歳児のう蝕予防としてフッ化物歯面塗布は適切な対応である。
- × b フッ化ジアンミン銀塗布は乳歯のう蝕進行抑制薬として使用する。
- × c フッ化物バーニッシュ塗布は象牙質知覚過敏症に用いられる。
- × d 5 歳児のう蝕予防としてフッ化物配合歯磨剤の利用は推奨されるが、その濃度は 500ppmF である。

(問題 75) 光重合型小窩裂溝填塞法の術式の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

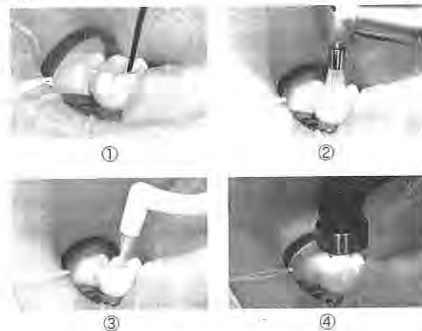
正しい順序はどれか。

- a ② → ③ → ① → ④
- b ② → ① → ③ → ④
- c ③ → ① → ④ → ②
- d ① → ② → ④ → ③

別冊 午後 No.21

選択肢考察

答え a



- a、× b、× c、× d

写真をみると、①はレジン填塞、②は歯面清掃、③は酸処理剤塗布、④は光照射であると考えられる。したがって、光重合型小窩裂溝填塞法の術式の手順としては②→③→①→④が正しい。

(問題 76) 週 1 回法のフッ化物洗口液 10mL を誤飲した。飲み込んだ洗口液に含まれるフッ化物イオン量(フッ素量)はどれか。

- a 2.5mg
- b 4.5mg
- c 9.0mg
- d 45.0mg

選択肢考察

答え c

- × a、× b、○ c、× d

週 1 回法のフッ化物洗口液のフッ化物イオン濃度は 900ppm である。洗口液 10mL 中に含まれるフッ化物イオン量は、900ppm × 10mL = 900mg/L × 10mL = 9.0mg となる。

(問題 77) う蝕発病因子として評価できないのはどれか。

- a 唾液緩衝能
- b 歯質耐酸性
- c 唾液分泌速度
- d 唾液潜血濃度

選択肢考察

答え d

- a、○ b、○ c う蝕発病因子の宿主要因を評価するう蝕活動性試験として、唾液緩衝能や歯質耐酸性、唾液分泌速度がある。
- × d 唾液潜血濃度はう蝕との関係がなく、う蝕発病因子として評価できない。

(問題 78) 行動変容に関連する理論とその内容の組合せを表に示す。

① 段階的变化モデル	3つのステージを通るプロセス
② 健康信念モデル	健康への危機感に対する行動変容
③ 社会的学習理論	自己決定により対処行動の維持を決定
④ プリシード・プロシードモデル	健康教育の政策立案のモデルとして活用

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え b d

- × a 段階的变化モデルは「無関心期」→「関心期」→「準備期」→「実行期」→「維持期」の 5 つのステージを通るプロセスである。
- b 健康信念モデルは健康への危機感に対する行動変容である。
- × c 社会的学習理論は他者の行動の観察に基づく学習についての理論である。
- d プリシード・プロシードモデルは健康教育の政策立案のモデルとして活用する。

(問題 79) 15 歳の女子。歯科医師より矯正治療開始前の口腔衛生管理の指示を受けた。DMFT は 0 本である。口腔内検査の結果を表に示す。

- ① PMA Index : 22
- ② OHI の DI スコア : 4
- ③ Streptococcus mutans 数 : 10³CFU/mL
- ④ 唾液分泌速度 : 1.0mL/分

改善すべき指標はどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え a b

- a PMA Index : 22 は改善すべきである。
- b OHI の DI スコア : 4 は改善すべきである。
- × c Streptococcus mutans 数 : 10³CFU/mL は問題ない。
- × d 唾液分泌速度 : 1.0mL/分は問題ない。

(問題 80) 地域の在宅療養者の受療行動を把握できるのはどれか。

- a 患者調査
- b 人口動態調査
- c 歯科疾患実態調査
- d 国民健康・栄養調査

選択肢考察

答え a

- a 患者調査は病院および一般診療所などの医療施設を利用する患者について、その傷病状況などの実態を明らかにすることを目的としているため、地域の在宅療養者の受療行動を把握できる。
- × b 人口動態調査は人口動態事象を把握し、人口および厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。
- × c 歯科疾患実態調査は我が国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的としている。
- × d 国民健康・栄養調査は「健康増進法」に基づき、国民の身体状況、栄養素等摂取量および生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図ることを目的としている。

(問題 81) 83 歳の女性。介護保険施設から口腔衛生管理の依頼を受け、歯科医師と一緒に口腔のアセスメントを行った。結果を表に示す。

- (口腔のアセスメント)
- 声 : かすれている。
- 嚥下 : 困難である。
- 口唇 : 乾燥している。
- 舌 : 舌苔がある。
- 唾液 : 粘性がある。
- 粘膜 : 乾燥しているが、潰瘍を認めない。
- 歯肉 : 一部発赤と腫脹がある。
- 歯と義歯 : 部分床義歯と歯に歯垢と食物残渣がある。

口腔衛生管理を行う上で必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 歯磨剤
- b 義歯安定剤
- c 口腔保湿剤
- d 義歯洗浄剤

選択肢考察

答え c d

- × a、× b 歯磨剤や義歯安定剤が必要な所見はみられない。
- c 口唇や粘膜が乾燥しているため、口腔保湿剤が必要である。
- d 部分床義歯に食物残渣がみられるため、義歯洗浄剤が必要である。

(問題 82) 25 歳の男性。下顎骨骨折治療のため顎間固定中である。口腔内写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

口腔衛生管理に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 人工唾液
- b 口腔洗浄器
- c タフトブラシ
- d デンタルフロス

別冊 午後 No.22

選択肢考察

答え b c



ワイヤーで顎間固定されている

- × a 人工唾液が必要な所見はみられない。
- b、○ c 口腔内写真からワイヤーで顎間固定されているため、ワイヤー直下の歯垢は口腔洗浄器やタフトブラシを用いて清掃するのが適切である。
- × d 口腔内写真からワイヤーで顎間固定されているため、デンタルフロスでは適切な口腔衛生管理は行えない。

(問題 83) 10 歳の女児。保護者から奥歯が上手に磨けないことを主訴として来院した。出生時から脳性麻痺の診断があり、日常生活は全介助で、緊張すると噛みしめてしまうという。歯科医師の診察でう蝕はなかったが、歯頸部に歯垢が付着していた。初診時の写真(別冊午後 No.23)を別に示す。

口腔衛生管理で保護者へ説明するのはどれか。2つ選べ。

- a 本人に口唇閉鎖を促すよう説明する。
- b 清掃時に用いる開口保持器具を紹介する。
- c 歯科医院での定期管理の必要性を説明する。
- d う蝕がないので適切に磨けていることを伝える。

別冊 午後 No.23

選択肢考察

答え b c



開口している

- × a 初診時の写真で開口しているが、緊張すると噛みしめてしまうため、本人に口唇閉鎖を促す必要はない。
- b 緊張すると噛みしめてしまうため、清掃時に用いる開口保持器具を紹介する。
- c 脳性麻痺の診断があり、日常生活は全介助のため、歯科医院での定期管理の必要性を説明する。
- × d う蝕はないが歯頸部に歯垢が付着しているため、適切には磨けていない。

(問題 84) 健康日本 21 (第二次)における非感染性疾患(NCD)はどれか。2つ選べ。

- a COPD
- b 破傷風
- c 虚血性心疾患
- d エボラ出血熱

選択肢考察

答え a c

- a、○ c がん、循環器疾患(虚血性心疾患)、糖尿病、COPD(慢性閉塞性肺疾患)は健康日本 21 (第二次)における非感染性疾患(NCD)である。
- × b、× d 破傷風やエボラ出血熱は感染性疾患である。

(問題 85) 特定健康診査・特定保健指導の目的はどれか。

- a 生活習慣の改善
- b 特定疾患の早期発見
- c 職業性疾患の進行防止
- d 地域住民の組織づくり

選択肢考察

答え a

- a、× b、× c、× d
- 特定健康診査はメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診で、特定健康診査の結果から生活習慣病のリスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる者に対して、生活習慣を見直すサポートとして特定保健指導が行われる。

(問題 86) 日本人の食事摂取基準 (2015 年版) で、BMI = 21.0 が「やせ者」となるのはどれか。

- a 18 ~ 29 歳
b 30 ~ 49 歳
c 50 ~ 69 歳
d 70 歳以上

選択肢考察 答え d

- × a、× b 日本人の食事摂取基準 (2015 年版) で、18 ~ 49 歳は BMI = 18.5 ~ 24.9 が目標値である。
× c 日本人の食事摂取基準 (2015 年版) で、50 ~ 69 歳は BMI = 20.0 ~ 24.9 が目標値である。
○ d 日本人の食事摂取基準 (2015 年版) で、70 歳以上は BMI = 21.5 ~ 24.9 が目標値のため、BMI = 21.0 は「やせ者」となる。

(問題 87) 学校歯科健康診断で CO を有する児童への事後措置として適切なものはどれか。2 つ選べ。

- a 頬杖癖をやめさせる。
b 歯科医院での治療を勧める。
c 鏡で当該部位を確認させる。
d むし歯の成り立ちを理解させる。

選択肢考察 答え c d

- × a 学校歯科健康診断で顎関節疾患がみられるときに頬杖癖をやめさせる。
× b 学校歯科健康診断で「C」がみられるときに歯科医院での治療を勧める。
○ c 学校歯科健康診断で「CO」がみられるときは、鏡で当該部位を確認させる。
○ d 学校歯科健康診断で「CO」がみられるときは、むし歯の成り立ちを理解させる。

(問題 88) 食生活指針 (平成 28 年) の項目で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 欧米の食文化や世界の産物を活かして。
b 食塩は控えめに、脂肪は質と量を考える。
c 1 日の睡眠のリズムから、健やかな生活リズムを。
d 適切な運動とバランスのよい食事で、適正体重の維持を。

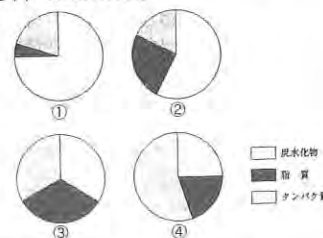
選択肢考察 答え b d

- × a 食生活指針 (平成 28 年) の項目は、「日本の食文化や地域の産物を活かし、郷土の味の継承を」である。
○ b 食生活指針 (平成 28 年) の項目は、「食塩は控えめに、脂肪は質と量を考える」である。
× c 食生活指針 (平成 28 年) の項目は、「1 日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを」である。
○ d 食生活指針 (平成 28 年) の項目は、「適切な運動とバランスのよい食事で、適正体重の維持を」である。

(問題 89) 日本人成人におけるエネルギーを産する栄養素の摂取比率 (エネルギー比率) を図に示す。

推奨するのはどれか。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

- × a、○ b、× c、× d

日本人におけるエネルギーを産する栄養素の摂取比率 (エネルギー比率) は、タンパク質:脂肪:炭水化物 = 10 ~ 20% : 20 ~ 25% : 50 ~ 70% が推奨されている (高齢者と乳幼児を除く)。

(問題 90) 75 歳の男性。アルツハイマー型認知症であり、移動は車椅子を使用している。これまで肺炎の既往はなく、総義歯を用いることで、家族と同じ食事を食卓で摂っているという。主治医からは先行期の障害が指摘されている。

現在において、注意すべき食事介助の項目はどれか。

- a 一口量の調節
b とりみ調整食品の使用
c 噛まなくてよい食品の提供
d 車椅子のリクライニング調整

選択肢考察

- a アルツハイマー型認知症であるが家族と同じ食事を食卓で摂っており、主治医からは先行期の障害が指摘されているため、現在においては一口量の調節を行う。
× b 誤嚥 (咽頭期の障害) がみられるときは、とりみ調整食品の使用を推奨する。
× c 咀嚼障害 (準備期の障害) がみられるときは、噛まなくてよい食品の提供を推奨する。
× d 家族と同じ食事を食卓で摂っているため、車椅子のリクライニング調整を行う必要はない。

(問題 91) NST における歯科衛生士の役割はどれか。2 つ選べ。

- a 院内感染の予防
b 経口摂取の推進
c 病院食の原材料費の軽減
d 入院患者の口腔衛生状態の改善

選択肢考察 答え b d

- × a 院内感染の予防は医師や歯科医師の役割である。
○ b、○ d NST における歯科衛生士の役割は経口摂取の推進や入院患者の口腔衛生状態の改善である。
× c 病院食の原材料費の軽減は NST における管理栄養士の役割である。

(問題 92) 呼吸機能に関する間接訓練で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 咳嗽訓練
b 筋機能訓練
c シャキア法
d 胸郭可動域訓練

選択肢考察 答え a d

- a、○ d 咳嗽訓練や胸郭可動域訓練は呼吸機能に関する間接訓練である。
× b、× c 舌訓練や口唇訓練、頬訓練、シャキア法は筋機能に関する間接訓練である。

(問題 93) 口腔筋機能療法 (MFT) の指導について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a 訓練は 2 ~ 4 週ごとの来院時に行う。
b 咀嚼訓練は水分の多い食材で実施する。
c 舌訓練は舌の挙上力や運動性を高める。
d 発音訓練は発音時に舌が歯列を越えないようにする。

選択肢考察

- △ a 口腔筋機能療法 (MFT) は 2 ~ 4 週ごとの来院時に指導を行い、家庭での訓練を継続させる。
× b 水分の多い食材は食塊形成が困難で、誤嚥する危険があるため用いない。
○ c 舌訓練は舌の挙上力や運動性を高める。
○ d 発音訓練は発音時に舌が歯列を越えないようにする。

(問題 94) 2 歳児における咀嚼機能の獲得不全の原因として考えられるのはどれか。2 つ選べ。

- a 先天性歯
b 口腔の習癖
c 母乳摂取の遅延
d 中枢神経系の疾患

選択肢考察 答え c d

- × a、× b 先天性歯や口腔の習癖は、2 歳児における咀嚼機能の獲得不全の原因としては考えにくい。
○ c、○ d 母乳摂取の遅延や中枢神経系の疾患は 2 歳児における咀嚼機能の獲得不全の原因として考えられる。

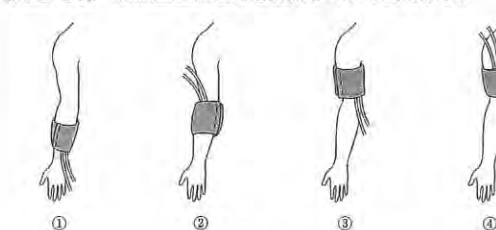
(問題 95) 摂食嚥下過程の順序はどれか。

- a 咀嚼 → 食塊形成 → 捕食 → 咽頭への移送
b 捕食 → 咀嚼 → 食塊形成 → 咽頭への移送
c 咀嚼 → 咽頭への移送 → 食塊形成 → 捕食
d 捕食 → 食塊形成 → 咀嚼 → 咽頭への移送

選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d
摂食嚥下過程の順序は、捕食 → 咀嚼 → 食塊形成 → 咽頭への移送である。

(問題 96) 自動血圧測定器を使用している図を示す。



マンシェットの装着で適切なのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d
マンシェット (カフ) の下縁を肘窩の 2cm 上に位置づけ、チューブは肘側にくるように巻き付ける (図③)。

(問題 97) 窩洞形成後に用いる仮封用軟質レジンの特徴はどれか。

- a 硬化時に膨張する。
b 歯髄鎮静作用がある。
c 硬化するまで約 30 分かかる。
d ユージノールによる重合阻害がある。

選択肢考察 答え d

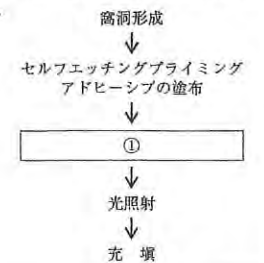
- × a レジンなので硬化時に重合収縮する。
× b 歯髄鎮静作用があるのはユージノール系セメントである。
× c 硬化するまで約 30 分かかるのは水硬性仮封材である。

- d ユージノールによる重合阻害があるので、ユージノール系セメントを含む材料の上から仮封すると硬化阻害がみられる。

(問題 98) オールインワンアドヒーズシステムのコンポジットレジン修復の手順を図に示す。

①はどれか。

- a 水洗
b エアブロー
c ボンディング材塗布
d コンディショナー塗布



選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d
オールインワンアドヒーズシステム (ワンステップ) では、セルフエッチングプライミングアドヒーズ (セルフエッチングプライマーボンディング材) の塗布 → エアブロー (乾燥) → 光照射 → 充填 → 光照射の手順となる。

(問題 99) 根管充填に使用する器具の写真 (別冊午後 No.24) を別に示す。

用途はどれか。

- a 垂直に加圧する。
b 側方に加圧する。
c 長さを測定する。
d 根管内に送り込む。

別冊 午後 No.24

選択肢考察 答え b



スプレッダー

- × a 垂直加圧根管充填のために使用するのはプラグーである。
○ b 写真はスプレッダーである。側方加圧根管充填のために使用する。
× c 根管長を測定するために使用する的是エンドゲージ、リマー、根管長測定器などである。
× d シーラーを根管内に送り込むために使用する的是レンツ口である。

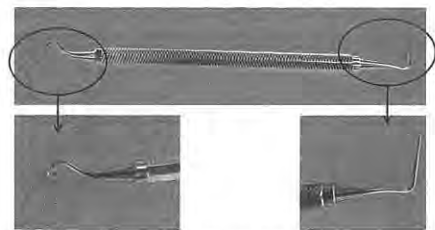
(問題 100) フラップ手術に用いる器具の写真 (別冊午後 No.25) を別に示す。

適切な用途はどれか。

- a 歯肉の剥離
b 歯根面の SRP
c 歯槽骨の整形
d 不良肉芽組織の除去

別冊 午後 No.25

選択肢考察 答え c



骨ファイル（ボーンファイル）

- × a 歯肉の剥離には骨膜剥離子、粘膜剥離子を用いる。
 × b 歯根面の SRP にはキュレットスケーラーを用いる。
 ○ c、△ d 写真の器具は骨ファイル（ボーンファイル）である。歯槽骨の整形や不良肉芽組織の除去に用いる。

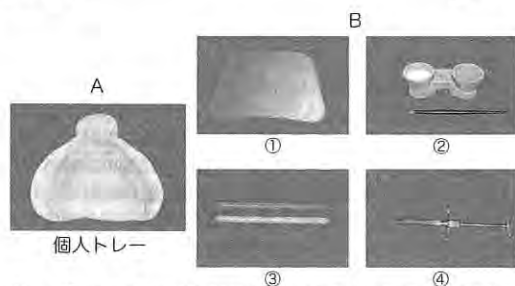
【問題 101】 78 歳の女性。上顎総義歯製作にあたり、筋圧形成の準備を指示された。個人トレーの写真（別冊午後 No.26A）と使用する器材の写真（別冊午後 No.26B）を別に示す。準備するのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.26A、B

選択肢考察

答え a c



- a ①はモデリングコンパウンド印象材である。ガスバーナーとお湯を利用してコンパウンド印象材を軟化させて筋圧形成する。
 × b ②はラバーカップに入った即時重合レジン（粉末、液体）と筆である。筋圧形成には使用しない。
 ○ c ③はペリコンパウンド印象材である。ガスバーナーとお湯を利用してコンパウンド印象材を軟化させて筋圧形成する。
 × d ④は寒天印象材である。全部床義歯の印象採得には使用しない。

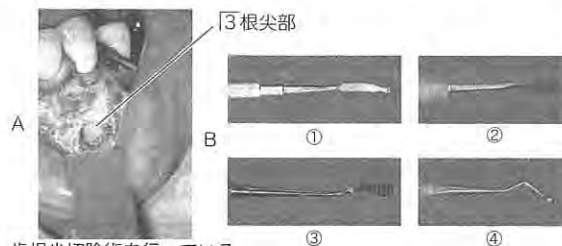
【問題 102】 45 歳の女性。下顎左側犬歯の咬合痛を主訴として来院した。診査の結果、慢性根尖性歯周炎と診断され、歯根尖切除術を行うことになった。術中の写真（別冊午後 No.27A）と使用器具の写真（別冊午後 No.27B）を別に示す。根尖部不良肉芽組織の除去に使用するのはどれか。

- a ①
 b ②
 c ③
 d ④

別冊 午後 No.27A、B

選択肢考察

答え d



歯根尖切除術を行っている

- × a ①は骨ノミ（チゼル）である。骨表面を削除するために使用する。
 × b ②は粘膜剥離子である。歯肉を剥離するために使用する。
 × c ③は骨ヤスリである。骨の断端や鋭縁部を平滑にするために使用する。
 ○ d ④は鋭匙である。根尖部不良肉芽組織を除去するために使用する。

【問題 103】 21 歳の女性。矯正用マルチブラケット装置を装着した。患者は矯正治療が初めてのため、歯科医師より患者に治療後の注意点を説明するように指示された。

当日の患者への説明内容で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 柔らかい粘着性の食べ物を選んでください。
 b 結紮線が突き出た場合は自分で切断してください。
 c 今後、数日で治まる痛みがみられることがあります。
 d 装置が粘膜にあたり痛む場合は、ホワイトワックスを使用してください。

選択肢考察

答え c d

- × a ブラケットに付着するので、柔らかい粘着性の食べ物は控えてもらう。
 × b 結紮線が突き出た場合は自分で切断せずに来院してもらう。
 ○ c 矯正力により歯が移動するので、数日間で治まる痛みが生じることを説明しておく。
 ○ d 装置が粘膜に当たって痛い場合は、ホワイトワックスを使用して装置が粘膜に当たらないように指導する。

【問題 104】 矯正用治療器具の写真（別冊午後 No.28）を別に示す。

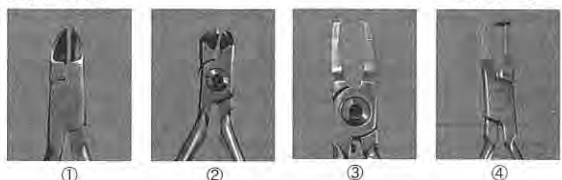
矯正終了時、バンドの撤去に使用するのはどれか。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.28

選択肢考察

答え d



- × a ①はピンアンドリガチャーカッターである。リガチャーワイヤー、ロックピンなどの細いワイヤーの切断に用いる。
 × b ②はディスタルエンドカッターである。バックルチューブの遠心端から突出したアーチワイヤーの末端を口腔内で切断するために用いる。
 × c ③はブラケットリムービングプライヤーである。接着したブラケットを歯面から撤去するのに用いる。
 ○ d ④はバンドリムービングプライヤーである。バンドの撤去に用いる。

【問題 105】 6 歳の男児。下顎右側第二乳臼歯のう蝕治療を希望して保護者と来院した。既製金属冠による歯冠修復を行うことになった。治療で使用する器具の写真（別冊午後 No.29）を別に示す。

正しい用途はどれか。

- a 冠縁の削除
 b 装着時の圧接
 c 咬合面の調整
 d マージン部の適合

別冊 午後 No.29

選択肢考察

答え d



ゴードンのプライヤー

- × a 冠縁の削除には金冠バサミを用いる。
 × b 装着時の冠の圧接にはピンセットやクラウンセッターを用いる。
 × c 咬合面の調整には咬合面調整鉗子を用いる。
 ○ d 写真はゴードンのプライヤーである。金属冠のマージン部を適合させるために用いる。

【問題 106】 FIM（機能的自立度評価）について正しいのはどれか。

- a 尺度は 3 段階評価である。
 b 介護負担度の評価ができる。
 c 評価項目に義歯着脱がある。
 d 得点が低いほど自立度が高い。

選択肢考察

答え b

- × a、○ b FIM（Functional Independence Measure）は介護者の負担度の評価ができる優れた方法である。①食事、②整容、③清拭（入浴）、④更衣・上半身、⑤更衣・下半身、⑥トイレ動作、⑦排尿、⑧排便、⑨ベッド・椅子・車椅子への移乗、⑩トイレ移乗、⑪浴槽移乗、⑫歩行（車椅子）、⑬階段昇降、⑭理解、⑮表出、⑯社会的交流、⑰問題解決、⑱記憶の計 18 項目から構成されている。各項目は 1 点から 7 点の 7 段階評価である。合計の最低が 18 点、最高が 126 点になる。
 × c 評価項目に義歯着脱はない。
 × d 得点が低いほど自立度が低い。

【問題 107】 25 歳の男性。下顎右側第一大臼歯の自発痛を主訴として母親と来院した。患者は知的障害があり精神年齢が 12 歳程度であることが母親から告げられた。検査の結果、歯髄炎と診断され抜髄処置を行うことになった。歯科医師より治療の内容を患者と母親に説明するよう指示された。

説明に際し留意する点はどれか。2つ選べ。

- a 抽象的な表現を多く使う。
 b 患者の実年齢にあった態度で接する。
 c 理解が得られるように繰り返し説明する。
 d 母親にも患者の精神年齢に応じた言葉で説明する。

選択肢考察

答え b c

- × a 抽象的な表現を多く使うとわかりづらい。
 ○ b 発達年齢に関わらず、年齢相応の敬意を払って、患者の

実年齢にあった態度で接する。

- c 精神年齢が 12 歳程度であることから理解が得られるように繰り返し説明する。
 × d 母親には知的障害はないので、通常どおり説明する。

【問題 108】 32 歳の女性。上顎右側臼歯部の冷水痛を主訴として来院した。検査のためにデンタルエックス線写真を撮影した。歯科医師よりエックス線フィルムの現像を指示され、自動現像機を使用して現像したところ、写真（別冊午後 No.30）に示すようなフィルムが現像された。

原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 現像液の劣化
 b 照射時間の不足
 c 現像液の高温化
 d フィルムの光漏れ

別冊 午後 No.30

選択肢考察

答え a b



エックス線写真が白くみえる

- a 現像液が劣化しているとエックス線写真は白くみえる。
 ○ b 照射時間が不足しているとエックス線写真は白くみえる。
 × c 現像液が高温だとエックス線写真は黒くみえる。
 × d フィルムの光漏れがあるとエックス線写真は黒くみえる。

【問題 109】 意識消失時の上気道閉塞による呼吸症状はどれか。2つ選べ。

- a 過換気
 b 呼吸停止
 c 奇異呼吸
 d トラキアルタグ

選択肢考察

答え c d

- × a、× b、○ c、○ d
 意識消失によって舌根沈下し、上気道閉塞が起こると、胸部の陥凹と腹部の膨張といった両者の動きが同調していない奇異呼吸と、吸気時に甲状軟骨が下方に移動し胸骨上窩が陥凹するトラキアルタグがみられる。

【問題 110】 誤嚥した場合、異物の存在部位として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 胃
 b 喉頭
 c 気管
 d 食道

選択肢考察

答え b c

- × a、× d 胃と食道を通るのは本来の食物の流れである。
 ○ b、○ c 通常なら食道へと送り込まれるはずの食物や唾液などが、何らかの理由で誤って喉頭や気管に入ってしまう状態のことを誤嚥という。誤嚥した場合、異物の存在部位として考えられるのは、喉頭や気管である。